

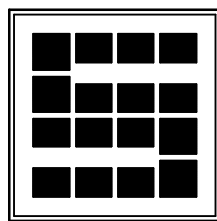
# 箕輪町体育館吊り天井等耐震改修工事

## [藤が丘体育館・社会体育館]

建 築 本 体 工 事								電 気 設 備 工 事			
	図面番号	図 面 名 称	縮 尺 (A1)		図面番号	図 面 名 称	縮 尺 (A1)		図面番号	図 面 名 称	縮 尺 (A1)
共 通	A-01	改修工事特記仕様書	N.S	社会体育館	A-15	配置図・仮設計画図	1/500	藤が丘体育館	E-01	電気設備工事特記仕様書	N.S
	A-02	解体工事特記仕様書	N.S		A-16	工事概要表・仕上表・工程表	N.S		E-02	2階電灯設備撤去図	1/100
藤が丘体育館	A-03	配置図・仮設計画図	1/500		A-17	1階平面図	1/100		E-03	2階電灯設備図	1/100
	A-04	工事概要表・仕上表・工程表	N.S		A-18	2階平面図	1/100		E-04	アリーナ照明器具設置詳細図	1/10
	A-05	1階平面図	1/100		A-19	現況断面展開図	1/100	社会体育館	E-05	電気設備工事特記仕様書	N.S
	A-06	2階平面図	1/100		A-20	改修後断面展開図	1/100		E-06	2階電灯設備撤去図	1/100
	A-07	現況断面展開図	1/100		A-21	現況矩計図	1/30		E-07	2階電灯設備図	1/100
	A-08	改修後断面展開図	1/100		A-22	改修後矩計図	1/30		E-08	アリーナ照明器具設置詳細図	1/30
	A-09	現況矩計図	1/30		A-23	現況2階天井伏図	1/100				
	A-10	改修後矩計図	1/30		A-24	改修後2階天井伏図	1/100				
	A-11	現況2階天井伏図	1/100		A-25	鋼製床組補強図	1/100				
	A-12	改修後2階天井伏図	1/100		A-26	足場参考図	1/100				
	A-13	軸組図	1/100								
	A-14	足場参考図	1/100								
										表紙を除き 計34枚	



みのわまち  
箕輪町  
Mi nowa -Town



創和 株式会社創和設計

箕輪町体育館吊り天井等耐震改修工事[藤が丘体育館・社会体育館]特記仕様書

I 工事概要

1. 工事場所

上伊那郡 箕輪町

2. 敷地面積（㎡）

3. 工事項目

建築工事、電気設備工事

建 物 別	種 別	構 造	階 数	梁間(m)	桁行(m)	建築面積(㎡)	延面積(㎡)
藤が丘体育館	改修	S	2	37.0	39.0	1,628.78	1,758.19
社会体育館	改修	S	2	36.0	48.0	1,866.00	1,895.75

II 建築改修工事仕様

1. 共通仕様

（1）図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官庁官庁営繕部の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（平成31年版）」（以下、「改修標準仕様書」という。）による。

また、改修標仕に記載されていない事項は、国土交通大臣官庁官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（平成31年版）」（以下、「標仕」という。）、及び「建築物解体工事共通仕様書・同解説（平成31年版）」（以下、「解体共仕」という。）による。

（2）電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの標準仕様書を適用する。

2. 特記仕様

（1）項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

（2）特記事項は、○印の付いたものを適用する。

○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。

○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。

（3）特記事項に記載の（ ．． ）内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

（4）特記事項に記載の[ ．． ]内表示記号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

（5）特記事項に記載の< ．． >内表示記号は、解体共仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章

項 目

特 記 事 項

1 一般共通事項

① 適用基準等

○ 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（平成 31 年版）（以下、「改修標準仕様書」という。）

○ 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（平成 31 年版）（以下、「標準仕様書」という。）

○ 建築工事標準詳細図（平成 28 年版）（以下、「標準詳細図」という。）

○ 建築物解体工事共通仕様書（平成 31 年版）

○ 敷地調査共通仕様書 国土交通省大臣官庁官庁営繕部整備課（平成 27 年改定）

○ 建築構造設計基準 国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修（平成 25 年版）

○ 工事写真の撮り方（改訂第二版）建築編 国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修

○ 長野県建築工事の手引 長野県建設部施設課監修

○ 公共建築木造工事標準仕様書 国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修（平成 31 年版）

○ 建設工事公衆災害防止対策要綱（建築工事編）建設省建設経済局建設課・住宅局建築指導課監修

○ 長野県建設リサイクル推進指針

2. 品質計画

建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による

※風速（V<sub>0</sub>）

※地表面粗糙区分（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ）

※積雪区分 告示第1455号 別表（ ）

③電気保安技術者

※適用する ・適用しない

④条件明示項目

・工事概要 図による。

⑤ 発生材の処理等

※別紙解体工事仕様書による ・構外搬出適正処理

また、収集・運搬・中間処理・最終処分等の処理について予め監督職員と協議すること。

・引渡しを要するもの

・再生資源の利用を図るもの

⑥ 特別な材料の工法

改修標仕及び、標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。

7. 施工数量調査

調査範囲及び調査方法 ※図示

既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ※図示 ・

⑧ 技 能 士

※ 適用する（一級技能士を採用している現場である旨の表示をすること。）

・適用しない

適用工事種目	技能検定作業
防水改修工事	・フッポリ防水工事作業 ・ウレタン系塗膜防水工事作業 ・ポリウレタン系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・強化ビニール系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・シーリング 防水工事作業 ・改質アクリルシート工法防水工事作業 ・FRP防水工事作業 ・左官作業 ・内外装板金作業
外壁改修工事	・左官作業 ・タイル張り作業 ・建築塗装作業
建具改修工事	・ビーム用カット工作業 ・ガサ工作業 ・自動ドア施工作業
内装改修工事	・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ工事作業 ○木口仕上げ工事作業 ○鋼製下地工事作業 ・壁張り作業 ・大工工事作業 ・タイル張り作業
塗装改修工事	・建築塗装作業
耐震改修工事	・鉄骨組立作業 ・型枠施工作業 ○とび作業
コンクリートポンプ・ALCパネル工事	・コンクリートポンプ工事作業
工事	・エポキシ樹脂工事作業
石工事	・石張り作業
植栽工事	・造園工事作業

9. 設備工事との取合い

設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。

⑩ 設計GL

※図示 ・設計GL=現状GL

3 仮設間仕切

④ 監督職員事務所

⑤ 工事用水

⑥ 工事用電力

5 建具改修工事

17 ガラス

・合わせガラス

品 種	構成種類	性 能
・フロート合わせガラス	・フロート板合わせガラス ・熱線吸収、フロート板合わせガラス	・Ⅰ類
・網入磨き合わせガラス	・網入磨き、フロート板合わせガラス ・網入磨き、熱線吸収板合わせガラス	・Ⅱ-Ⅰ類 ・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類

・強化ガラス

材料板ガラスによる種類

種 類

性 能

・フロートガラス

・フロート強化ガラス  
・熱線吸収強化ガラス

・Ⅰ類 ・Ⅲ類

・型板ガラス

・型板強化ガラス

・熱線吸収板ガラス

品 種	性 能	色 調
・熱線吸収フロート板ガラス	・ 1 種 ・ 2 種	・ブルー ・グレー ・ブロンズ
・熱線吸収網入磨き板ガラス		

・複層ガラス

品 種	断熱性	日射熱遮へい性
・断熱複層ガラス	・ 1 種 ・ 2 種 ・ 3 種	U1 U2 U-3-1 ・ U-3-2
・日射熱遮へい複層ガラス	・ 4 種 ・ 5 種	E4 E5

・熱線反射ガラス

品 種	日射熱遮へい性	耐 久 性
・熱線反射ガラス 色調（・ブルー ・グレー）	・ 1 種 ・ 2 種 ・ 3 種	A種 ・A種 ・B種 B種

反射被覆面 ・内面 ・外面

映像調整 ・行わない ・行う

・倍強度ガラス

材料板ガラスによる種類の名称	色 調
・フロート強度ガラス	-
・熱線吸収倍強度ガラス	・ブルー ・グレー ・ブロンズ

ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)
・アルミニウム製	・シーリング材 ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形	※改修標準仕様書表5.13.1による ・ 図示 ・
・鋼製及び鋼製軽量	・シーリング材	※改修標準仕様書表5.13.1による ・ 図示 ・
・ステンレス製	・シーリング材	※改修標準仕様書表5.13.1による ・ 図示 ・

18 ガラスブロック

表面形状

呼び寸法  
(mm)

厚さ  
(mm)

色調  
ｸﾗｽﾞ 乳白

平積み

目地幅(mm)

伸縮調整  
目地(mm)

防火性能

・正方形

・125×125

80

・

※8～15

外側 ※15以下

※6m以下ごとに幅10～25

※無し ・有り

・160×160

・95

・

・15～25

・

・

・

・200×200

・95

・

・

内側 ※6以上

・

・

・320×320

95

・

・

・

・

・

・長方形

・250×125

80

・

・

・

・

・320×160

95

・

・

・

・

・

曲面積みの曲面半径は、ガラスブロックの幅寸法の10倍以上とする。

壁用金属枠及び補強材 ・設ける（形状 ※図示 ・ ）  
・設けない

カサ 材質 ※ステンレス鋼（SUS304） ・  
寸法 ※径5.5mm ・  
形状 ※はしご形状横筋及び単筋 ・  
化粧目地モルタルの色（ ）  
金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製  
寸法 ・ 図示 ・  
形状 ・ 図示 ・

工法  
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・ 1.15 ・ 1.3）倍の風圧力に対に対応した工法  
目地部のカサの補強方法  
※ガラスブロック製造所の仕様による ・ 図示 ・

名 称	種 類	張り面	性能値
・ガラス飛散防止フィルム G S		・内張り ・外張り	飛散防止率 D 1
○日射調整フィルム G			遮光

品質 JIS A 5759による

6 内装改修工事

1 改修範囲

既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲  
※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・ 図示  
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲  
※ 壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・ 図示  
天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修  
※ 既存のま ま ・ 図示

2 既存床の撤去及び下地補修

ビニル床シート等の除去 ※ 仕上げ材のみ（接着剤ととも）  
・ 下地モルタルとも（・ 図示の範囲 ・ 除去範囲全て）  
合成樹脂塗床材の除去工法 ・ 機械的除去工法 ・ 目荒し工法  
コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外装改修工事による。  
改修後の床の清掃範囲 ※ 改修箇所の室内 ・

3 既存壁の撤去及び下地補修

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修  
※改修標準仕様書4.4.9によるモルタル塗り（塗り厚25mmを超える場合の補修 ・ 行う ・ 行わない）  
・ 図示

⑪ 軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類  
屋外（※ 25 形 ・ 19 形） 屋内（※ 19 形 ・ 25 形）  
・ 屋外の軒天等、ビロチー天井等  
工法  
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法  
※適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の（・1 ・ 1.15 ・ 1.3）倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法）  
・ 適用しない  
野縁受、吊りボルト及びギンサートの間隔 ・ 図示 ・  
周辺部の端からの間隔 ・ 図示 ・  
野縁の間隔 ・ 図示 ・

既存の埋込目インサート ・使用する ・使用しない  
あと施工アンカーの引抜き試験 ・行う（屋外の場合の方法：（ ）  
・行わない

・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合  
補強方法 ※図示 ・

・天井のふところが一、5mm以上3.0mm以下の場合  
補強方法 ※改修標準仕様書6.6.4(h) (1) (2)による

・天井のふところが一、3.0mmを超える場合  
補強方法 ※図示 ・

○天井下地材における耐震性を考慮した補強  
補強箇所 ※図示 ・  
補強方法 ※図示 ・

12 軽量鉄骨壁下地

スタッド、ランナーの種類  
※改修標準仕様書6.7.3によるスタッドの高さによる区分に応じた種類

スタッドの高さが5mmを超える場合 ※図示 ・

8 耐震改修工事

（基礎工事）

1 埋戻し及び盛土

埋戻し及び盛土の種類  
・ A 種 適用場所（ ）  
・ B 種 適用場所（ ）  
・ C 種 適用場所（ ）土質（ ）受渡場所（ ）  
・ D 種 適用場所（ ）  
（細粒分（75μm以下）の含有率（重量百分率）の上限を50%未満とする。）  
六価クロム溶出試験 ・ 行う（現場説明書による） ・ 行わない

2 建設発生土の処理

※ 現場説明書による ・ 構内指示の場所に堆積 ・ 構内指示の場所に敷き均し  
・ 構外搬出適正処理

3 山留めの存置

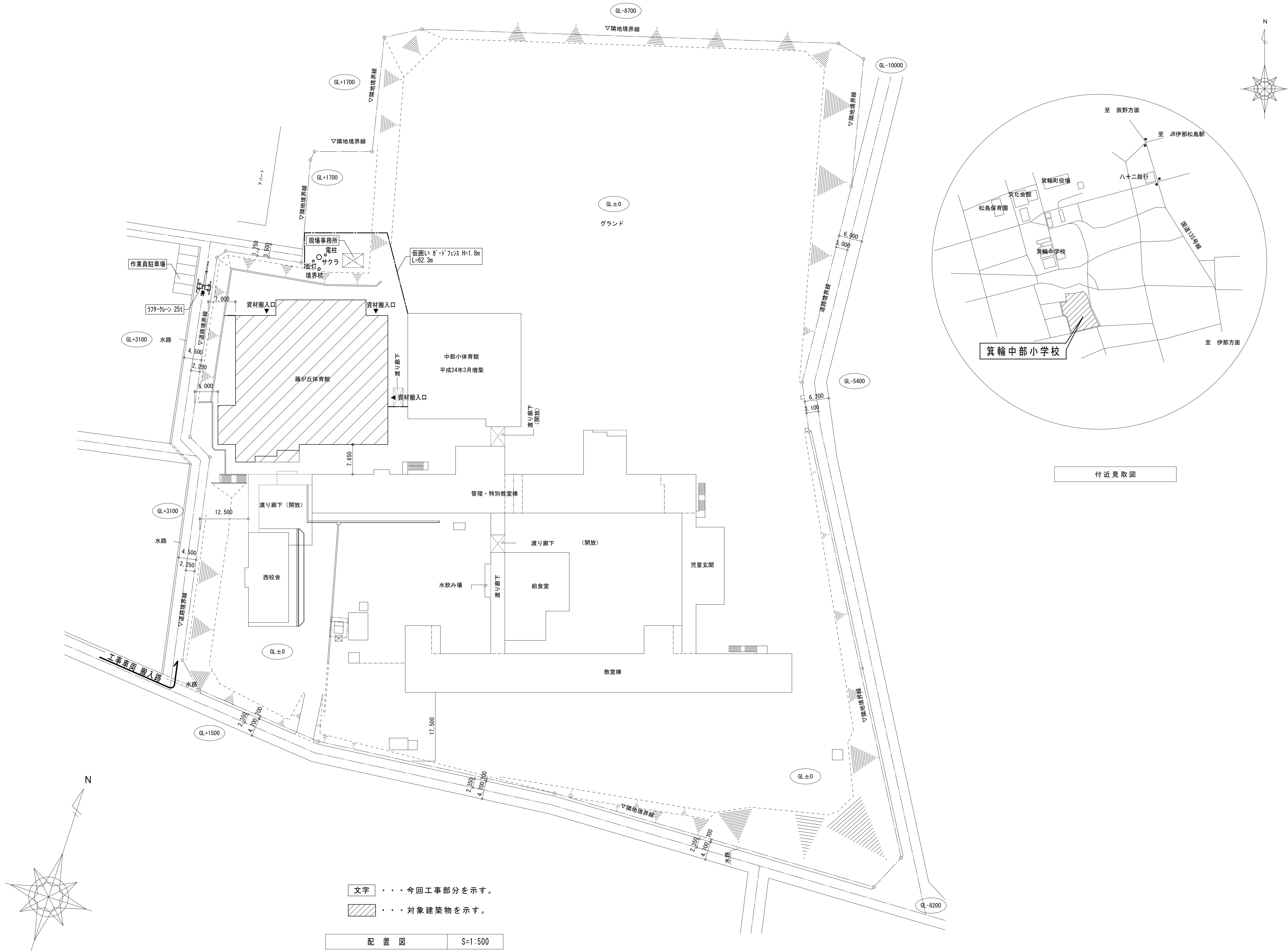
存置範囲（※図示 ・ ）  
（ ）  
その他の事項は改修特記仕様書（その6～ ）による

④ 耐震天井改修

○ 軽量耐震天井

[illegible]







付近見取図

文字・・・今回工事部分を示す。  
斜線・・・対象建築物を示す。

配置図 S=1:500

MEMORANDUM	TITLE	ITEM	SCALE	DATE	CHECK-DRAWING	株式会社 創和設計			SHEET NO.
	箕輪町体育館吊り天井等耐震改修工事	〔藤が丘体育館〕 配置図・仮設計画図	A1:1/ 500	R02.03	一級建築士 第3242号 小河 豪	一級建築士 第20029号 有賀 修司			A-03 / 34

工 事 概 要 表

工 事 種 目	工 事 科 目	工 事 概 要	工 事 種 目	工 事 科 目	工 事 概 要
建 築 工 事	内装改修工事	・アリーナ及びギャラリーの既存天井撤去（下地共）の上 軽量天井（2kg/㎡以下）新設	電 気 設 備 工 事	電 灯 設 備 工 事	・アリーナ既存照明（24ヵ所）を撤去し、新規LED照明（40ヵ所）を設置
		・ギャラリー東面 既存遮光ブラインド撤去後 遮光フィルム張り			・上記工事に伴う配線工事
		・時計、スピーカー×2、額×2 落下防止ワイヤー取付け			
		・折畳式バスケットゴール撤去後 鉄骨フレーム塗装		火災報知設備工事	・天井撤去に伴い、既存スポット型感知器、非常照明の取外し、再取付け
		・防鳥ネット取付け ・既存カーテン、カーテンレール撤去新設 ・雨漏り箇所調査			
	体育器具撤去工事	・天井吊型バスケットゴール 1基、折畳式バスケットゴール 1基 撤去			
		・床ライン（メインバスケット）1面 撤去			
		・登り綱用鉄骨 撤去			

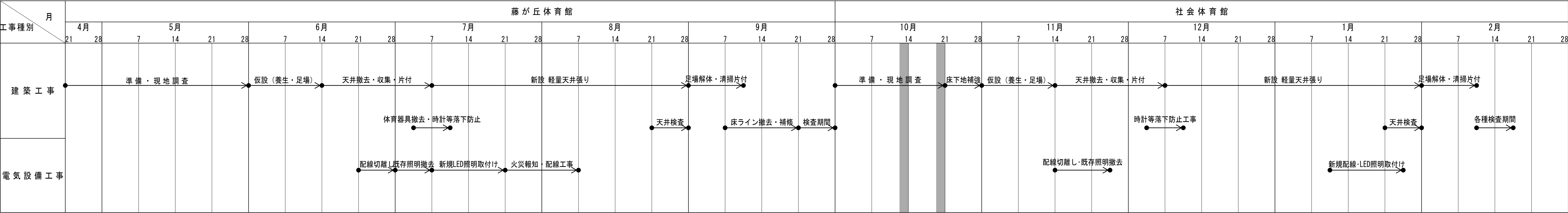
施 工 条 件

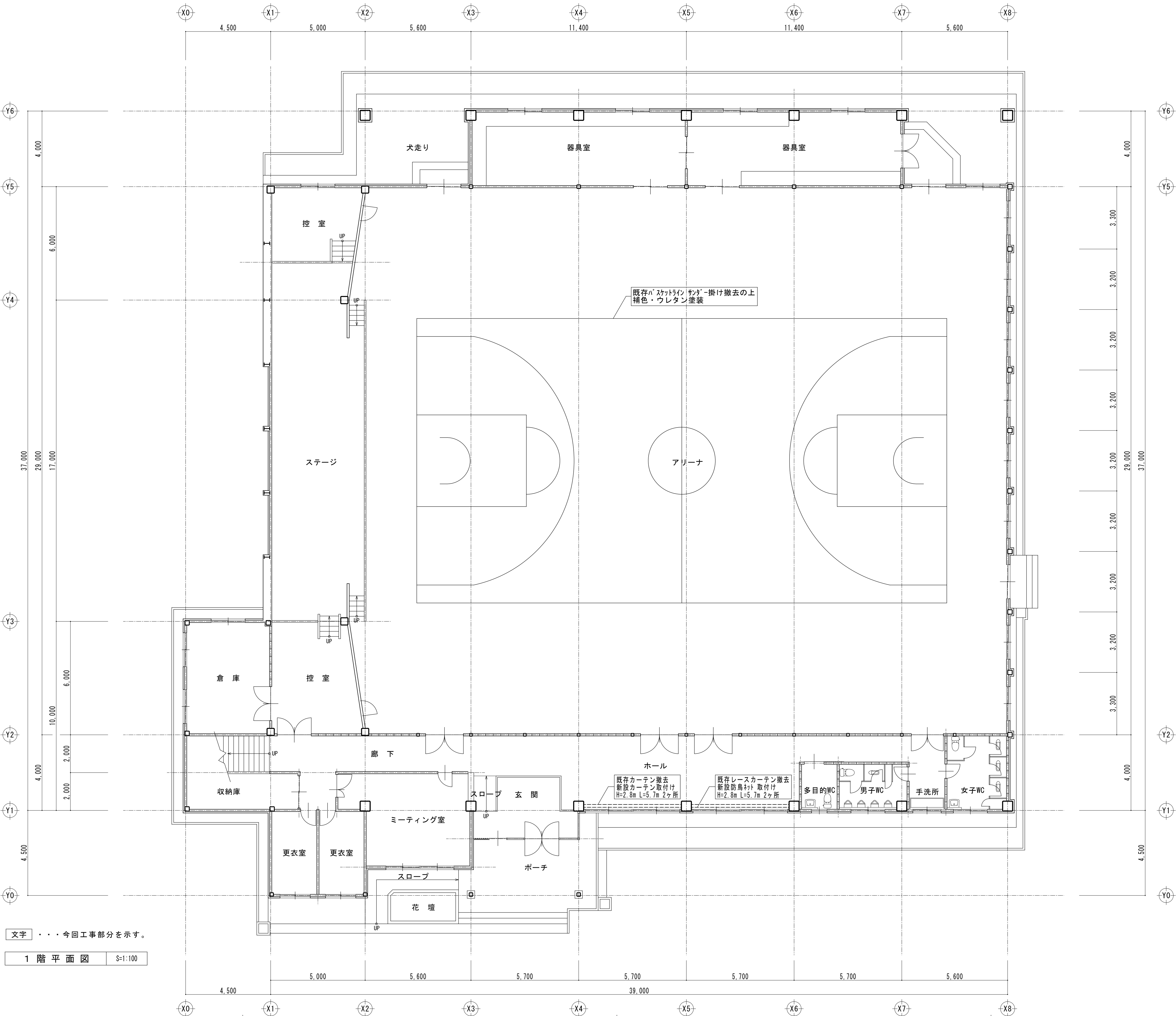
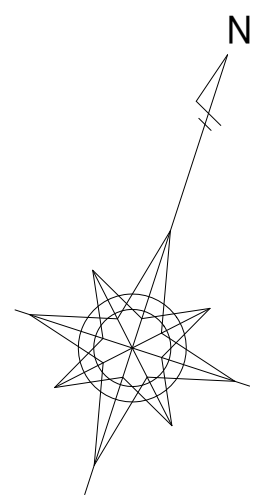
○本工事は、学校敷地内の工事となるため、速やかに仮設計画、工程等の施工計画を作成し学校関係者と協議すること。	○解体撤去工事等、騒音が発生する作業を行う際は、事前に学校と協議を行い、承諾を得てから作業を行うこと。
○本工事の施工にあたり、資材の搬出入は、近隣の小中学校の登下校時間帯は避けること。特に大型車両の搬出入時の際は、交通誘導員を配置する等の安全対策に留意すること。別途、道路許可申請等が必要な場合は、事前に対応すること。	○居ながら工事の為、学校行事等により、作業日や時間帯が制限される場合がある。
	○工事関係車両と学校利用者の動線を、仮囲い等により分離すること。

内 部 仕 上 表

階	室 名	区 分	床 仕 上	巾 木	壁 仕 上	天 井 仕 上	天 井 高	備 考	室 名
1階	アリーナ	現 況	鋼製床下地 ラワン合板 t12下張り サワラフローリング t18 サンダー掛け ウレタン3回塗り	木製 H=100 OSCL	長尺横羽目合板 t8.5（ラワン合板 t9下張り 一部LGS下地 GB-R9.5+12.5 下張り） 一部サクラ練付合板 t6 OSCL 上部有孔ラワン合板 一部ラワン合板 t5.5 OP	有孔ラワン合板 t5.5（ｸﾞﾗｽｰﾙ t50敷）ラワン合板 t5.5 千鳥 目透かし張り OP 一部溶接金網 9φ @100 格子天井 SOP 見掛け鉄部 OP	9,845～13,500	体育器具 コートライン 防球ネット 電動遮光ブランド	アリーナ
		改修後	既存のまま	既存のまま	既存のまま 一部軽量天井材張り仕上げ	既存天井撤去（下地共）の上 軽量天井（2kg/㎡以下）張り 一部溶接金網 9φ @100 格子天井（既存）	—	吊下げ式ﾊﾞｽｹｯﾄｺｰﾙ 1基・折畳式ﾊﾞｽｹｯﾄｺｰﾙ 1基 ﾎｽｸﾗｲﾝ撤去 登り綱用鉄骨撤去 時計、スピーカー、額 落下防止装置取付け	
	ホール・廊下	現 況	モルタル金コテ下地 長尺塩ビシート貼り t2.0 スロープ：長尺塩ビシート（スロープ用）	ビニール巾木 H=75	CB面 モルタル金コテの上 内部用吹付タイル LGS100下地 GB-R t9.5+12.5 内部用吹付タイル 柱型 鉄部 SOP	GB-R t9.5 目透かし張り AEP 一部GB-R t9.5下張り ロックウール吸音板 t9 リブ付き	2,600 2,810	掲示板 室名札 カーテン アルミカーテンBOX（W=150） 消火器	ホール・廊下
		改修後	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	—	既存ｶｰﾃﾝ撤去、新設ｶｰﾃﾝ取付け（ﾀﾞﾝｹﾞｸ ｺﾝﾄﾗﾙｶｰﾃﾝ ｻﾙﾞﾍﾞ 同等品）既存ﾚｰﾙ使用 既存ﾚｰｶｰﾃﾝ撤去、防鳥ﾈｯﾄ取付け（25mm目 ﾛｰﾌﾞﾈｯﾄ）既存ﾚｰﾙ使用	
2階	ギャラリー	現 況	モルタル金コテ下地 エポキシ系塗床 一部 チェッカープレート OP	木製 H=75 一部 ビニール巾木 H=75	LGS100下地 ラワン合板 t5.5 有孔ラワン合板 t5.5 OP（有孔部ｸﾞﾗｽｰﾙ t50裏貼り） 一部ラワン合板 t9 OP 鉄部 SOP	有孔ラワン合板 t5.5 OP グラスウール t50 敷詰め	4,715	カーテン 木製カーテンBOX（W=200）遮光ブラインド	ギャラリー
		改修後	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存天井撤去（下地共）の上 軽量天井（2kg/㎡以下）張り	4,715 4,315	既存ブラインド撤去後 遮光フィルム（PET基材厚50μm以上）張り 既存ｶｰﾃﾝ+ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ撤去、新設ｶｰﾃﾝ取付（ﾀﾞﾝｹﾞｸ ｺﾝﾄﾗﾙｶｰﾃﾝ ｻﾙﾞﾍﾞ 同等品）中型ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ取付け共 既存カーテンBOX内防鳥ネット取付け（25mm目 ﾛｰﾌﾞﾈｯﾄ）中型ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ取付け共	
						軽量天井材の参考メーカー・商品 山洋工業㈱・イアルSLC・桐井製作所：安心天井S、帝人フロンティア㈱：かるてん、旭ビル下工業㈱：SLC、磯和紙空間：かる〜い天井、			

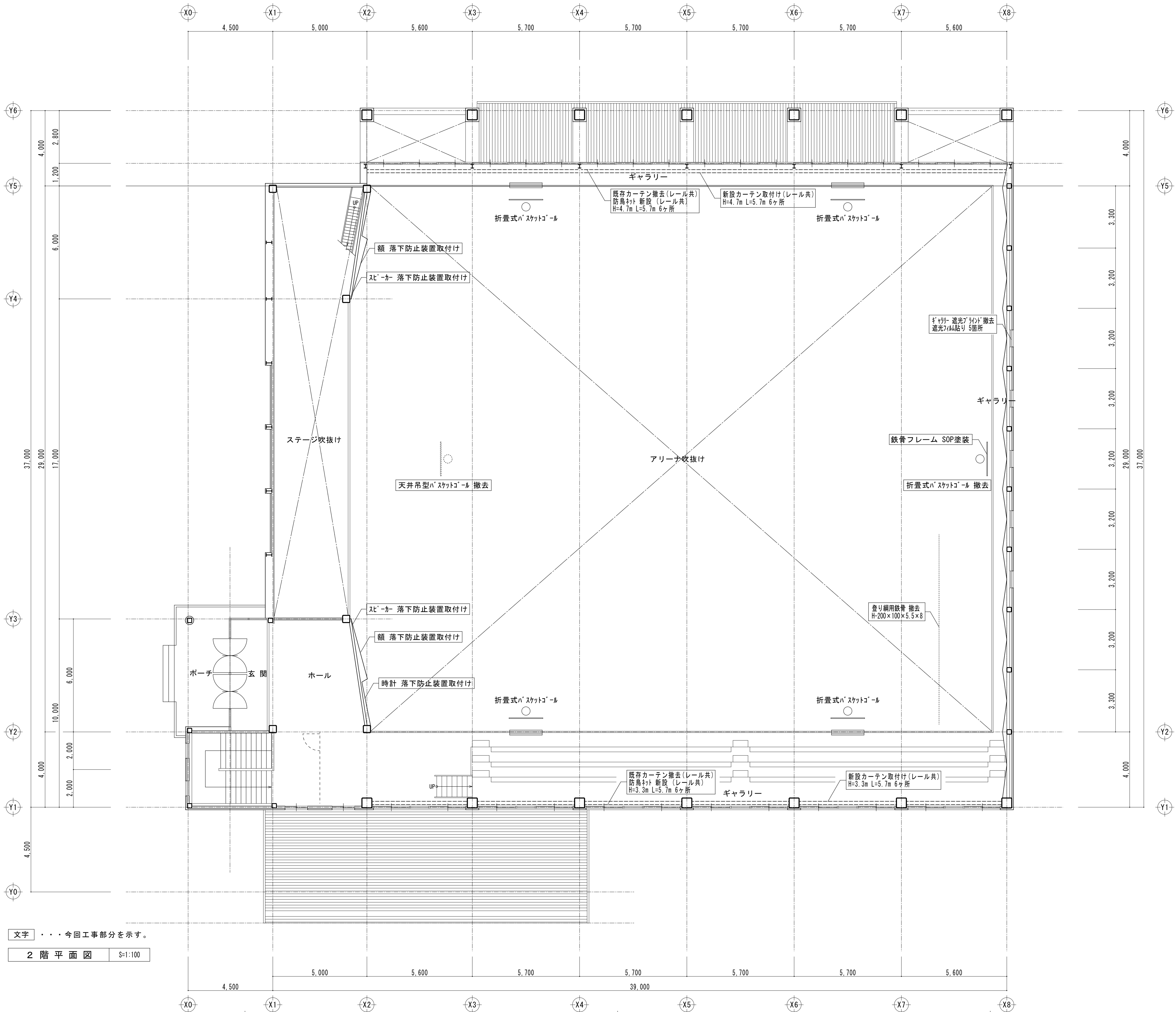
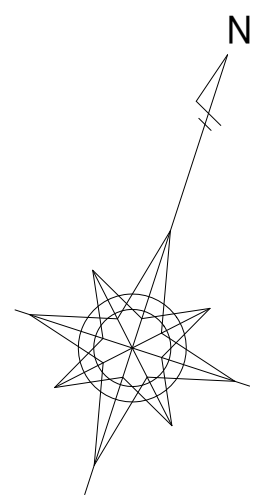
概 略 工 程 表 ・・・10/13.14・10/20.21は、体育館使用予定のため工事不可。





文字・・・今回工事部分を示す。

1 階 平 面 図 S=1:100

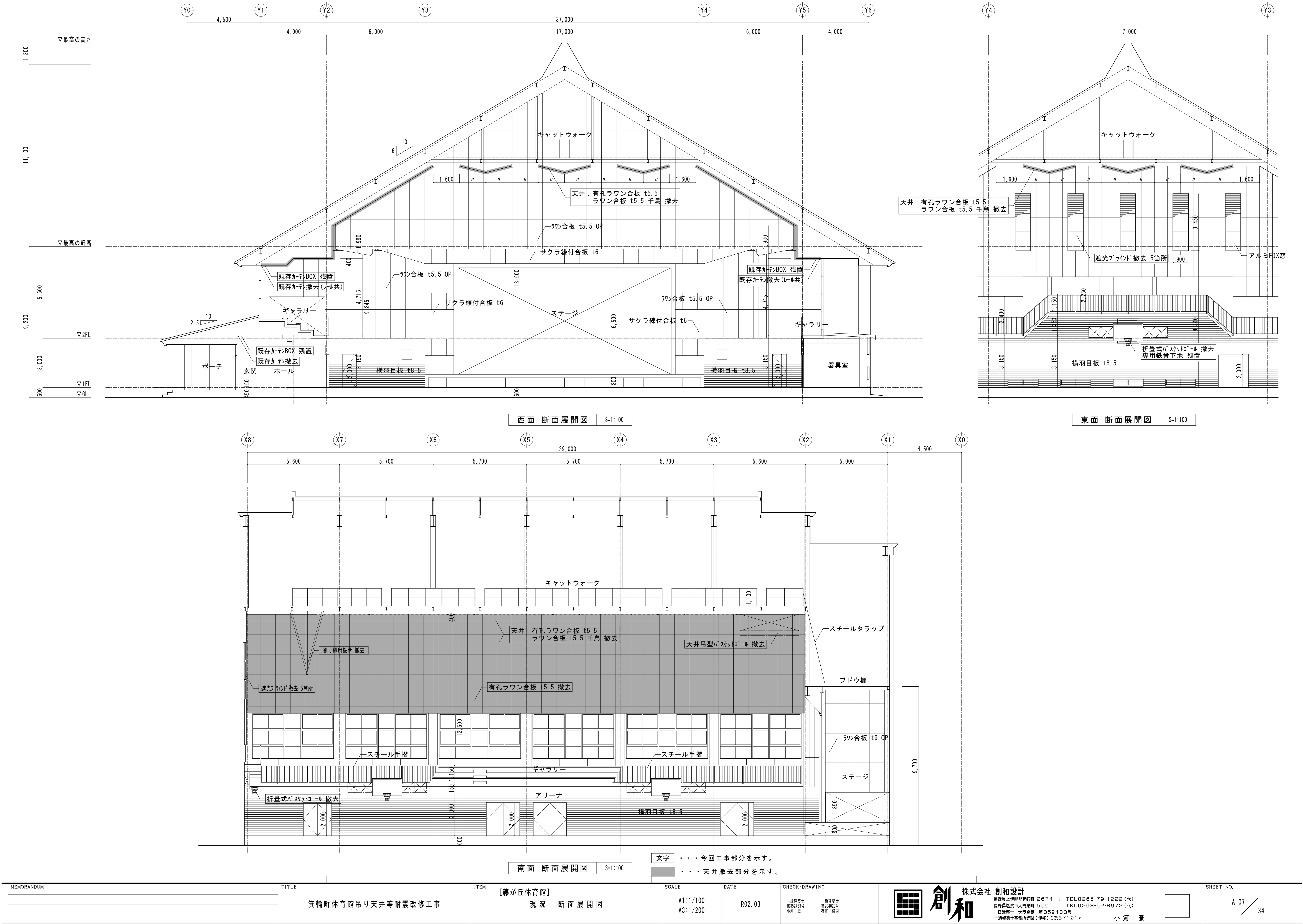


文字・・・今回工事部分を示す。

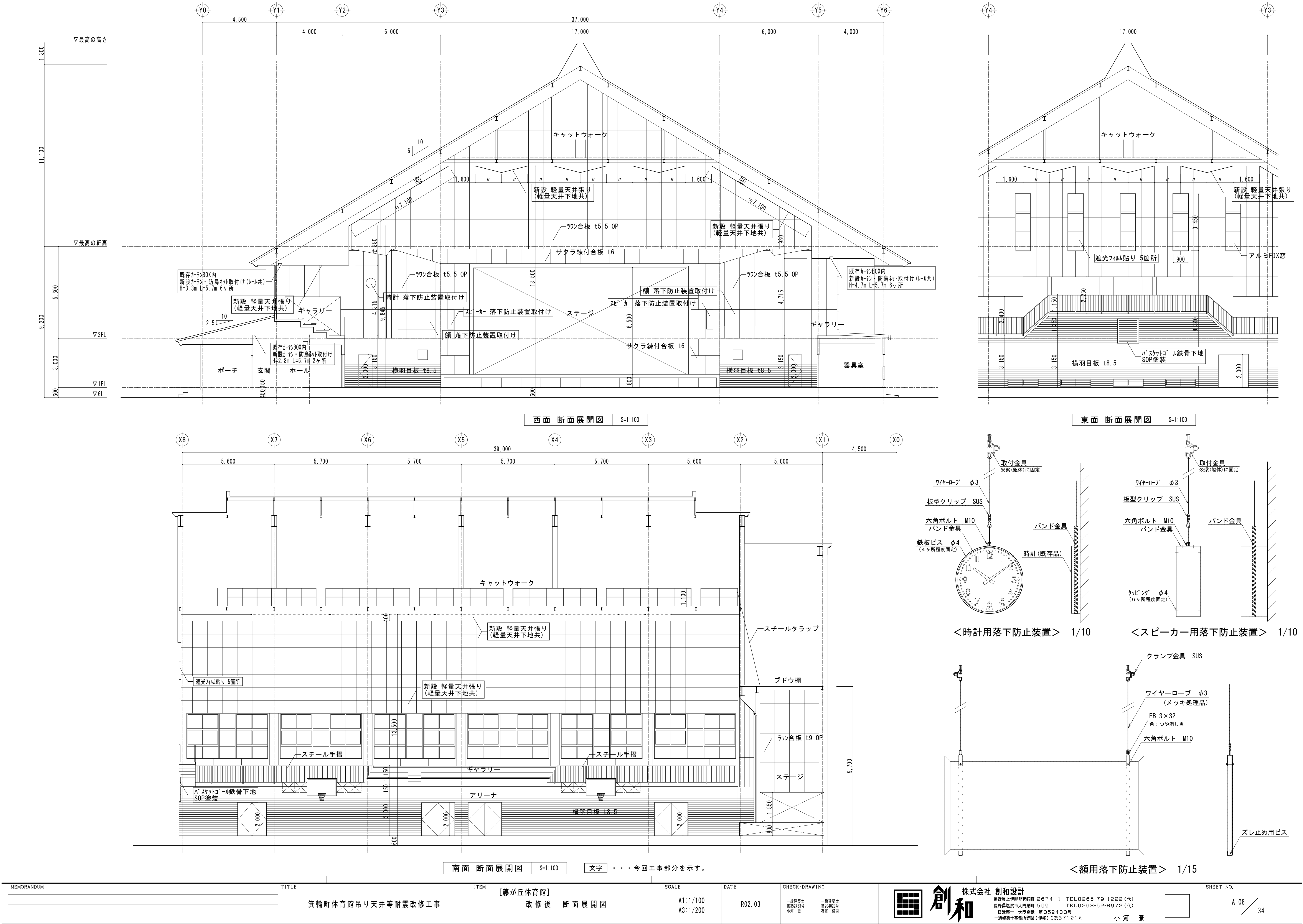
2 階 平 面 図

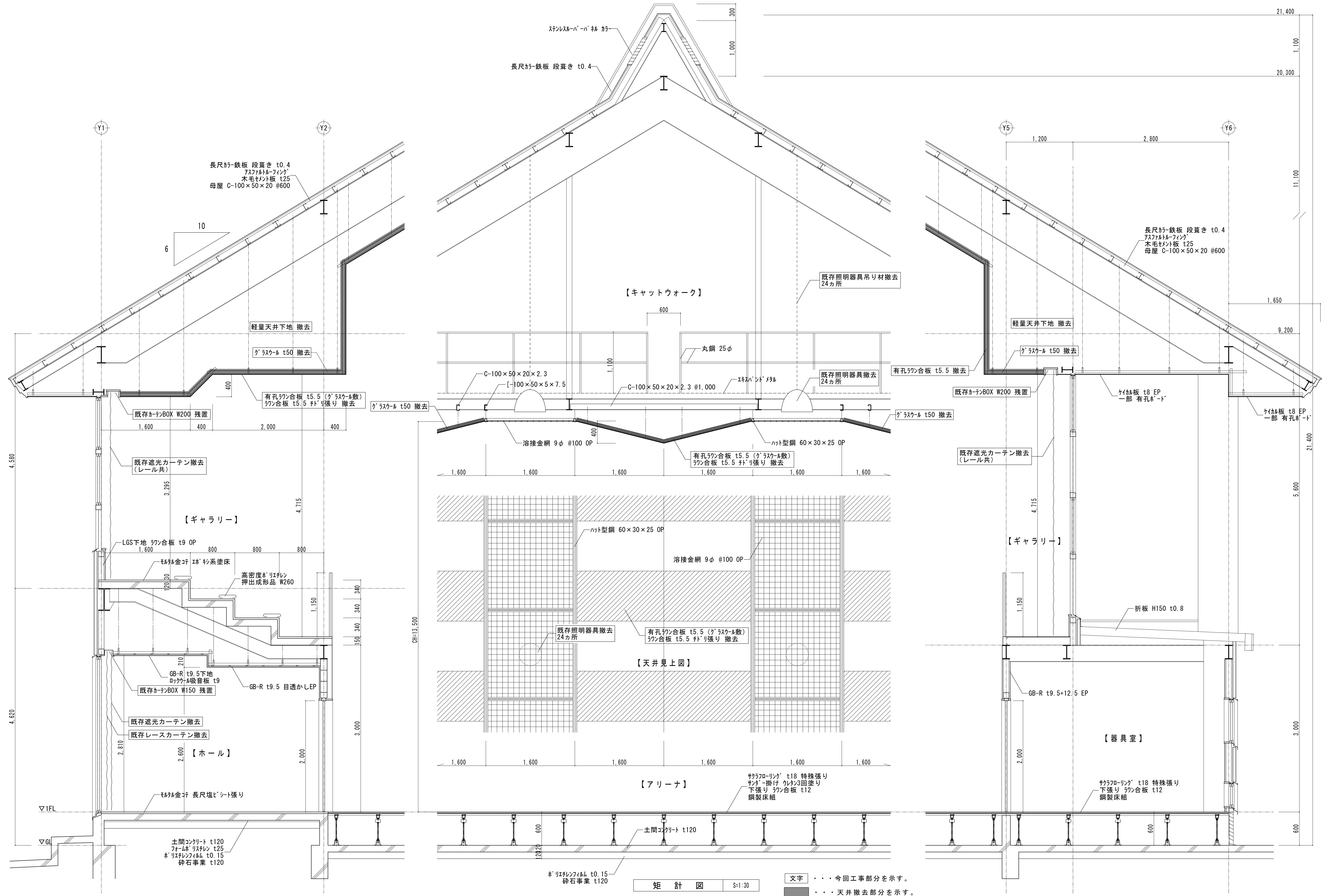
S=1:100

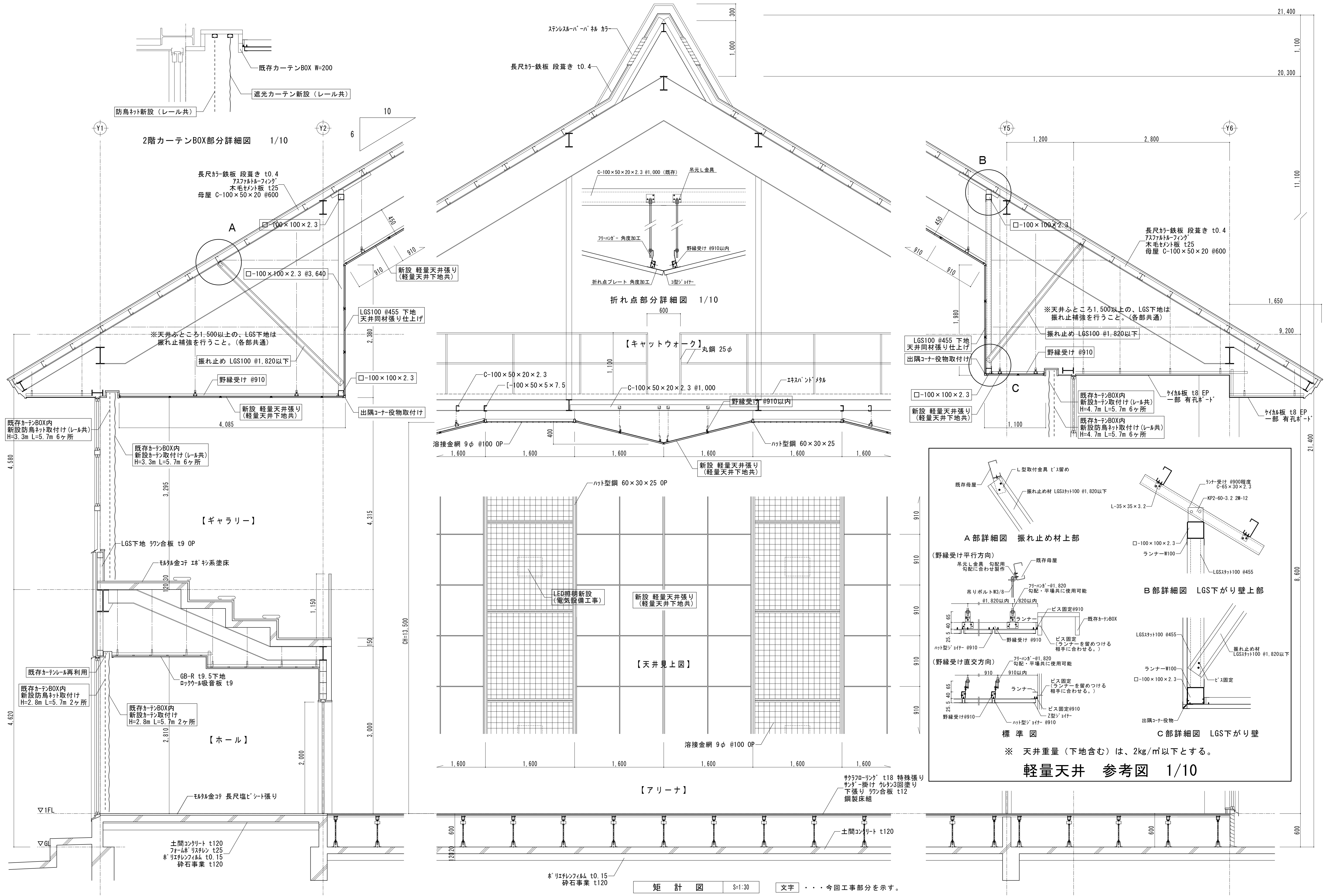
MEMORANDUM	TITLE	ITEM	SCALE	DATE	CHECK・DRAWING	創和株式会社 創和設計	SHEET NO.
	箕輪町体育館吊り天井等耐震改修工事	【藤が丘体育館】 2 階 平 面 図	A1:1/100 A3:1/200	R02. 03	一級建築士 第352423号 小河 豪 一級建築士 第204029号 有賀 修司	長野県上伊那郡箕輪町 2874-1 TEL0285-79-1222(代) 長野県塩尻市大門東町 509 TEL0283-52-8972(代) 一級建築士 大谷登雄 第352433号 一級建築士事務所登録(伊那)G第37121号 小河 豪	A-06 / 34

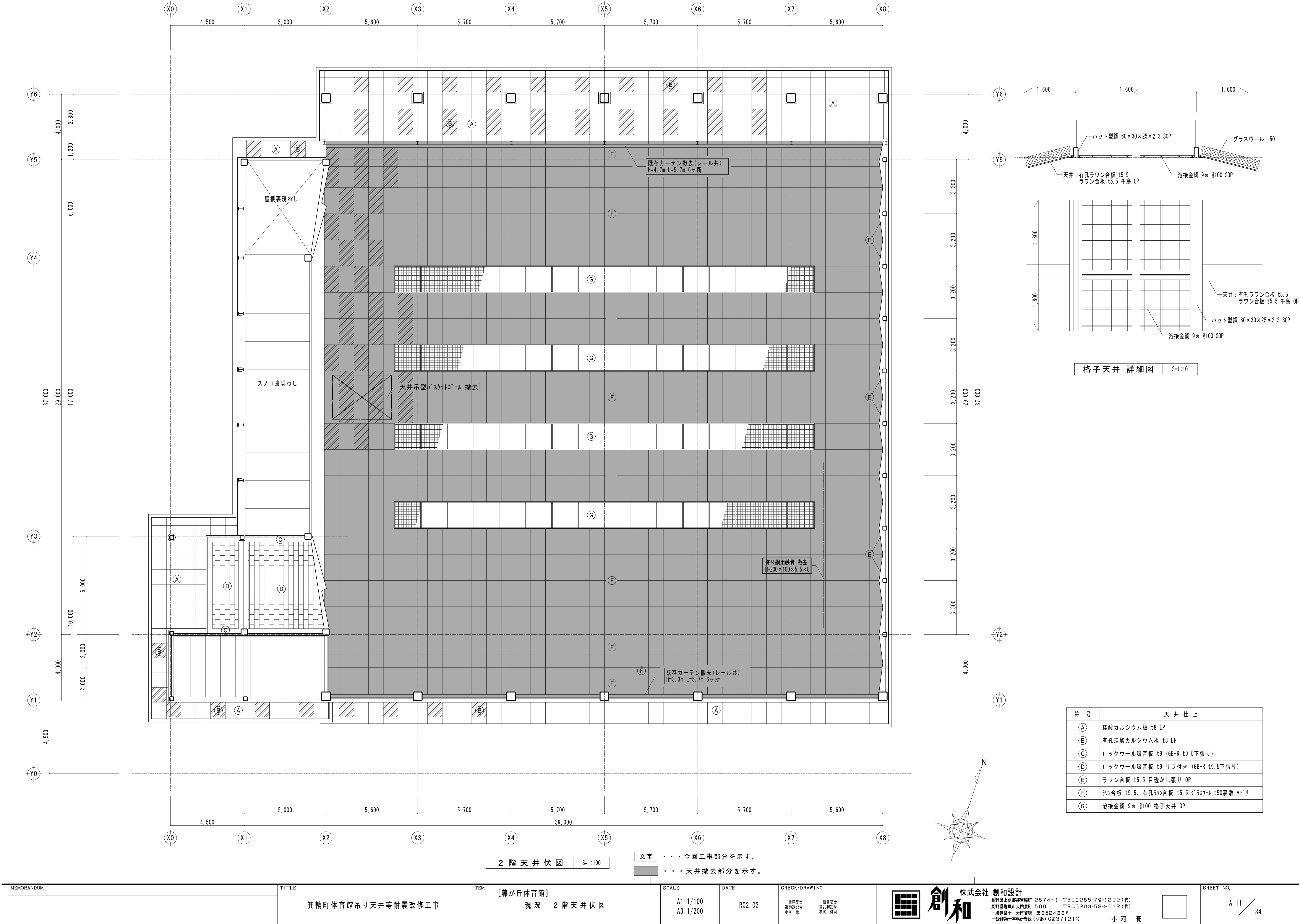




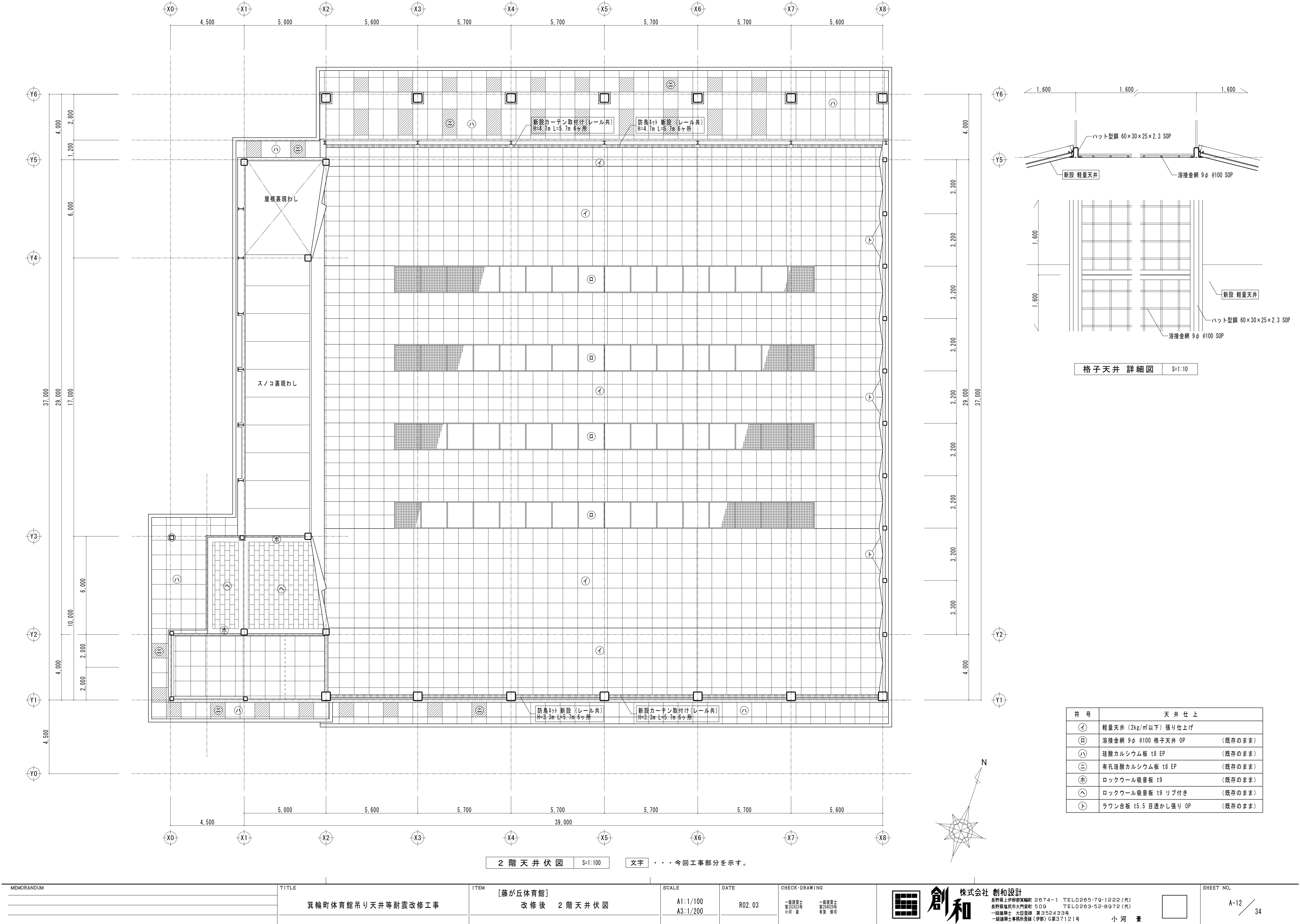






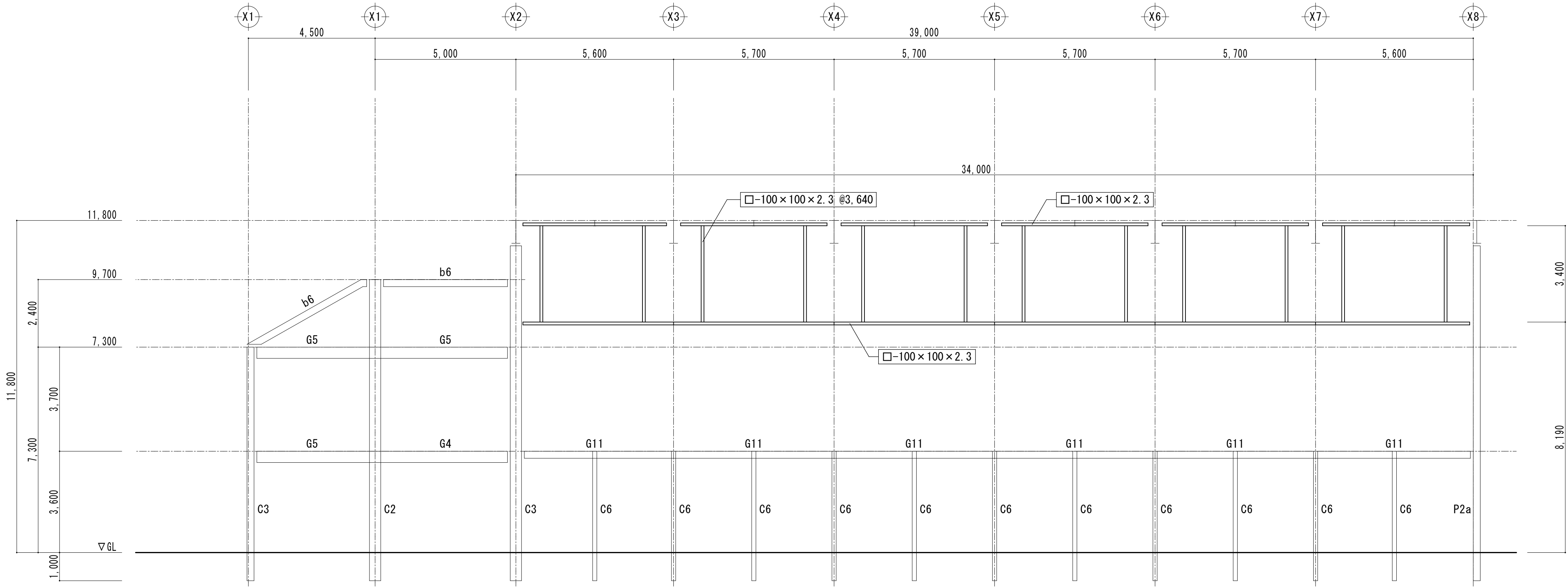






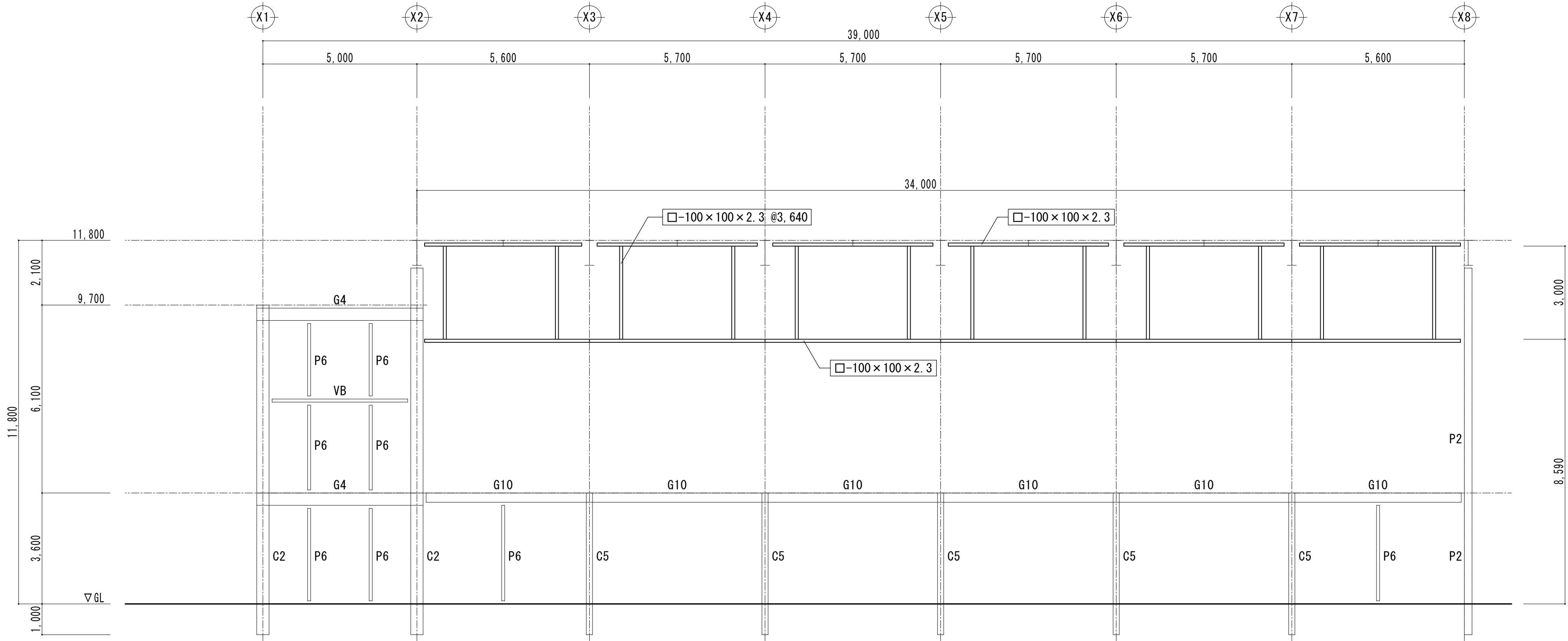
2 階天井伏図 S=1:100 文字 . . . 今回工事部分を示す。

符 号	天 井 仕 上
イ	軽量天井 (2kg/m <sup>2</sup> 以下) 張り仕上げ
ロ	溶接金網 9φ @100 格子天井 OP (既存のまま)
ハ	珪酸カルシウム板 t8 EP (既存のまま)
ニ	有孔珪酸カルシウム板 t8 EP (既存のまま)
ホ	ロックウール吸音板 t9 (既存のまま)
ヘ	ロックウール吸音板 t9 リブ付き (既存のまま)
ト	ラワン合板 t5.5 目透かし張り OP (既存のまま)

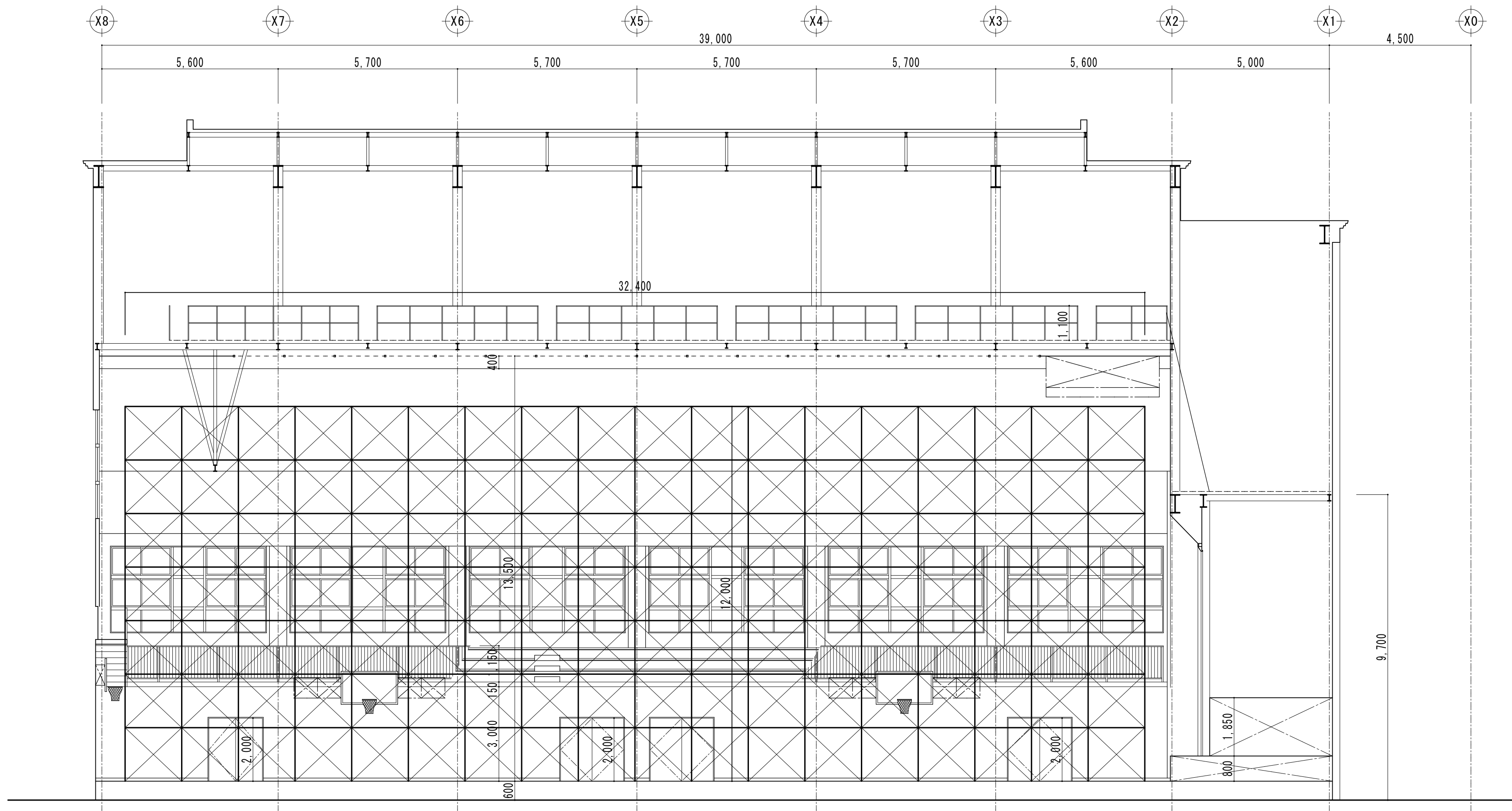
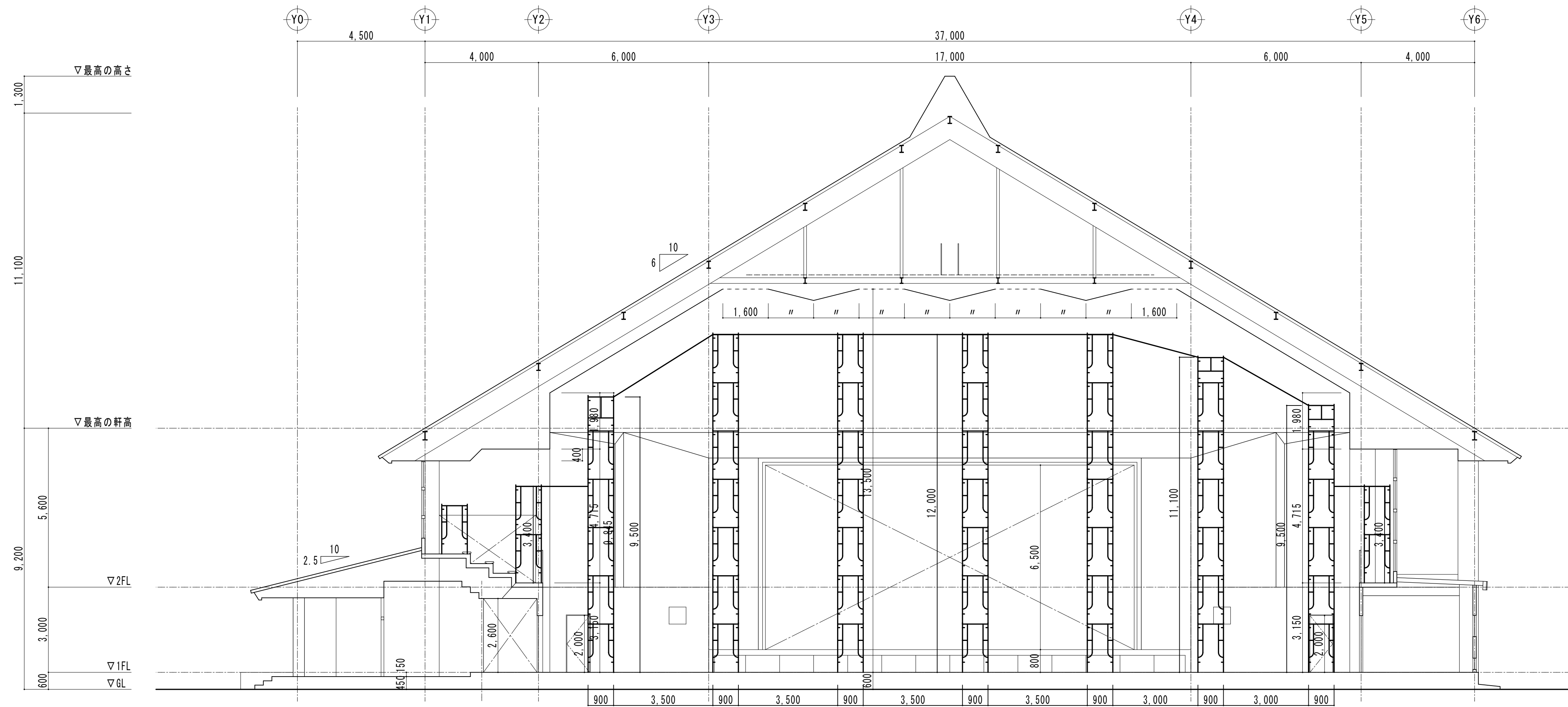


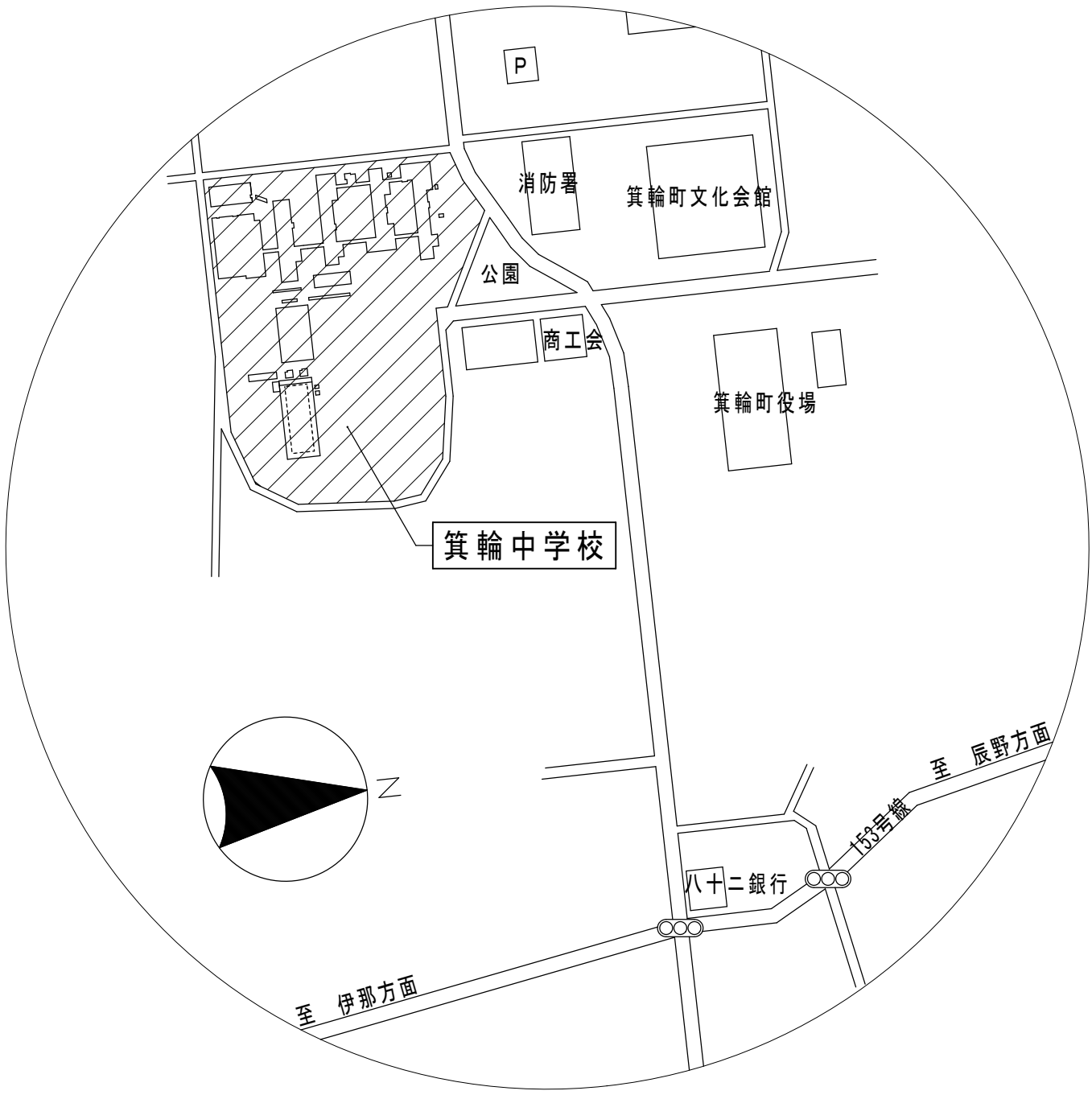
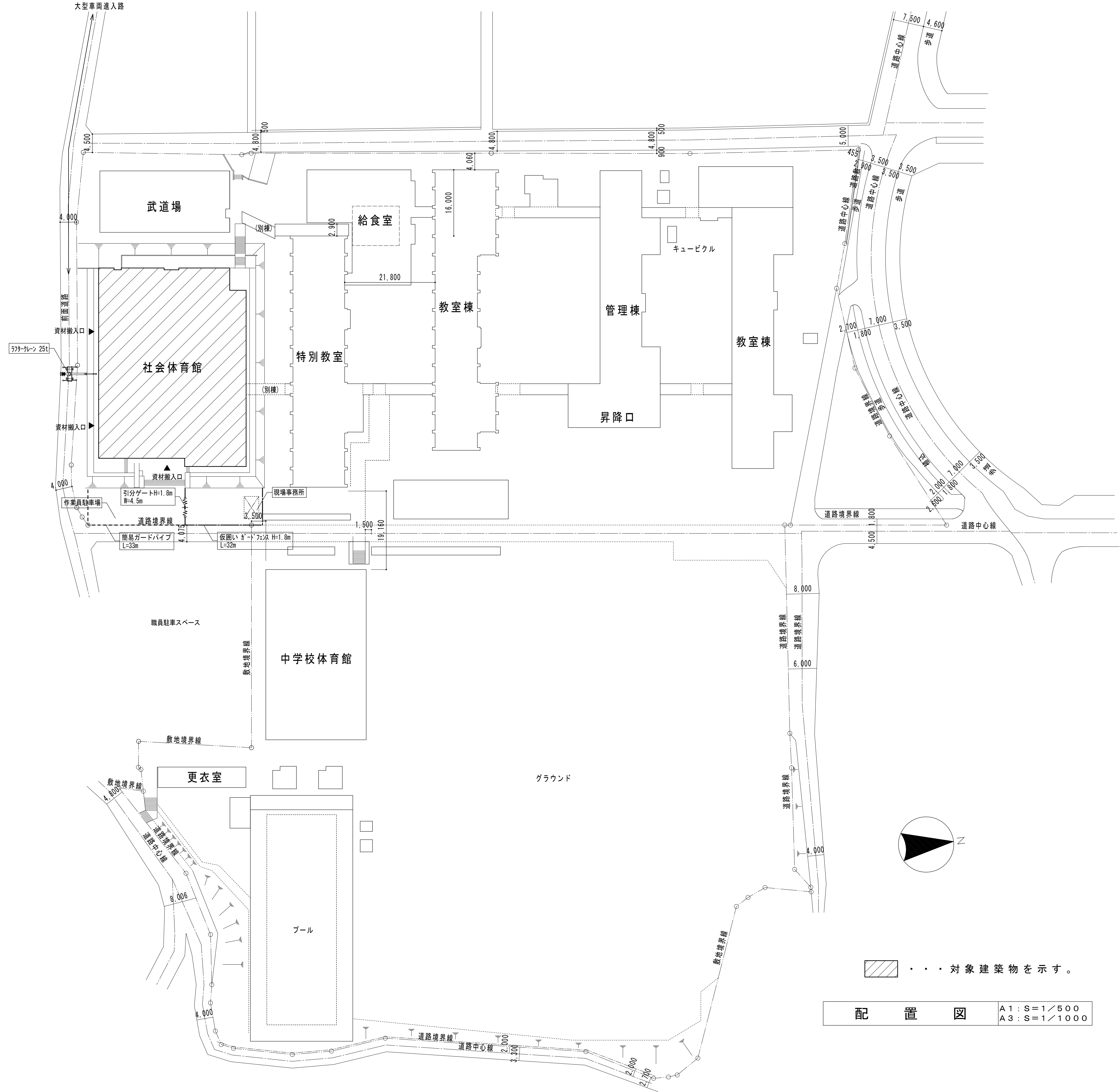
Y2通り 軸組図 S=1:100 文字・・・今回工事部分を示す。

部 材 リ ス ト	
C2	□-400×400×19
C3	□-250×250×12
C5	□-200×200×12
C6	□-150×150×6
G4・G5	H-400×200×8×13
G10	H-300×150×6.5×9
G11	H-250×125×6×9
b6	H-250×125×6×9
P2・P2a	□-250×250×12
P6	□-100×100×3.2
VB	H-100×100×6×8



Y5通り 軸組図 S=1:100 文字・・・今回工事部分を示す。





■■■■対象建築物を示す。

配置図	A1 : S=1/500
	A3 : S=1/1000

付 近 見 取 図



工 事 概 要 表

工 事 種 目	工 事 科 目	工 事 概 要	工 事 種 目	工 事 科 目	工 事 概 要
建 築 工 事	内装改修工事	・アリーナ及びギャラリーの既存天井パネル撤去（下地共）の上 軽量天井（2kg/㎡以下）新設	電気設備工事	電灯設備工事	・アリーナ既存照明撤去の上、新規LED照明設置
		・既存天井エキスパンドメタル部分補修			・上記工事に伴う配線工事
		・時計、スピーカー×2、額×2 落下防止ワイヤー取付け			
		・雨漏り箇所調査			

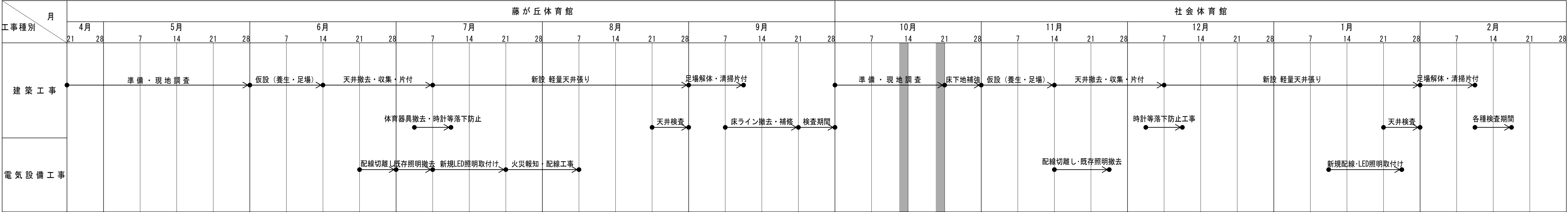
施 工 条 件

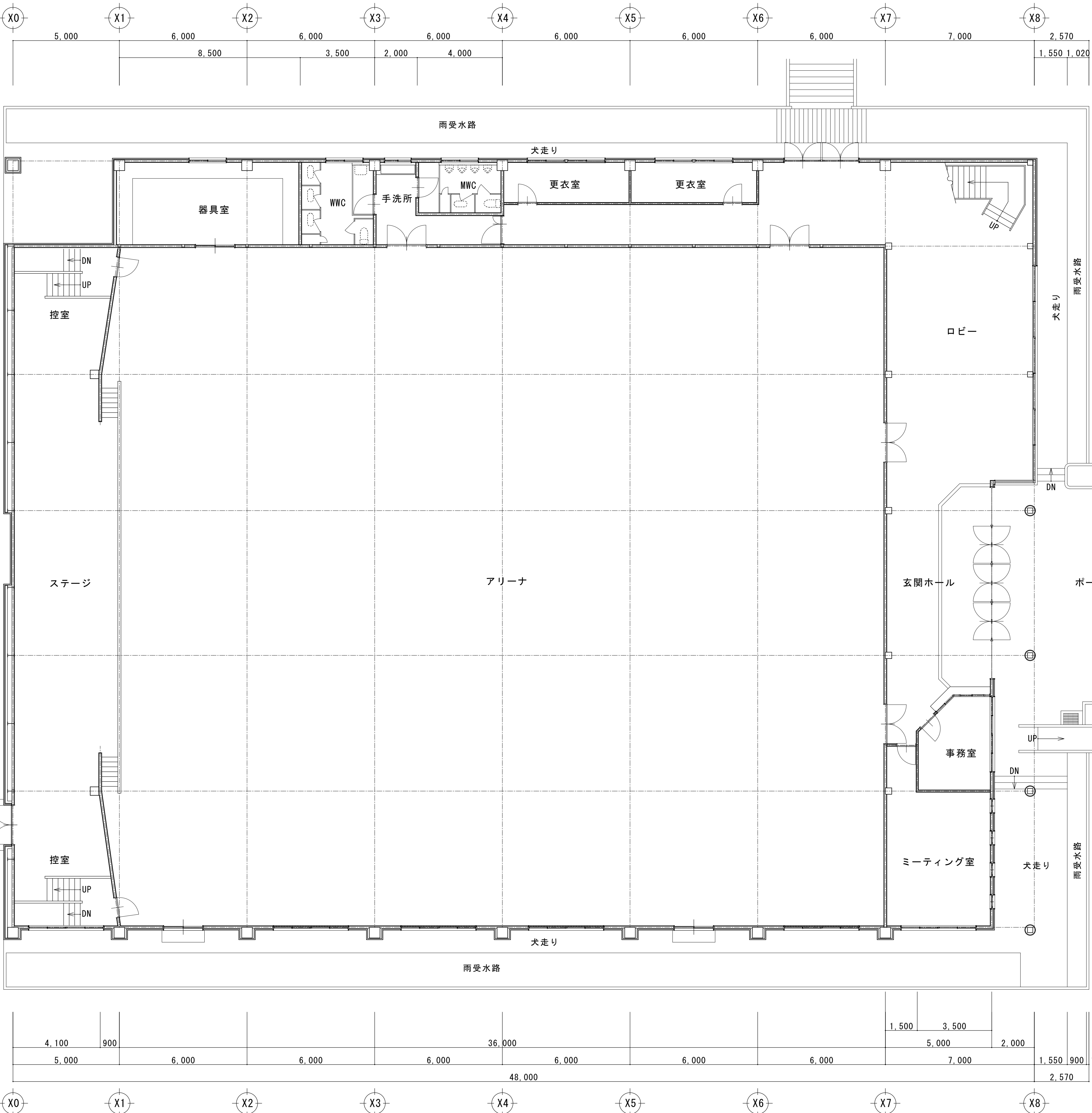
○本工事は、学校敷地内の工事となるため、速やかに仮設計画、工程等の施工計画を作成し学校関係者と協議すること。	○解体撤去工事等、騒音が発生する作業を行う際は、事前に学校と協議を行い、承諾を得てから作業を行うこと。
○本工事の施工にあたり、資材の搬出入は、近隣の小中学校の登下校時間帯は避けること。特に大型車両の搬出入時の際は、交通誘導員を配置する等の安全対策に留意すること。別途、道路許可申請等が必要な場合は、事前に対応すること。	○居ながら工事の為、学校行事等により、作業日や時間帯が制限される場合がある。  ○工事関係車両と学校利用者の動線を、仮囲い等により分離すること。



内 部 仕 上 表

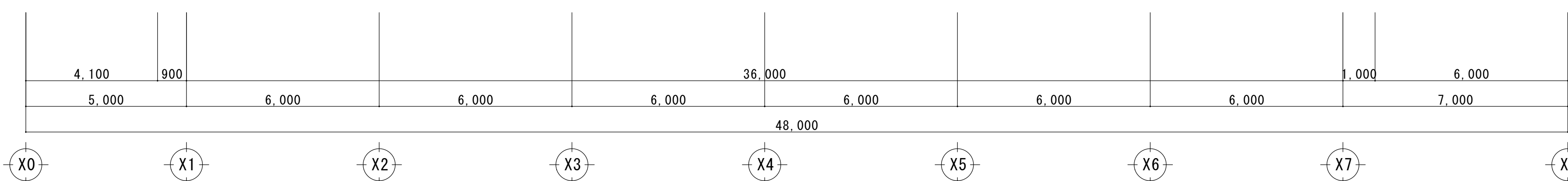
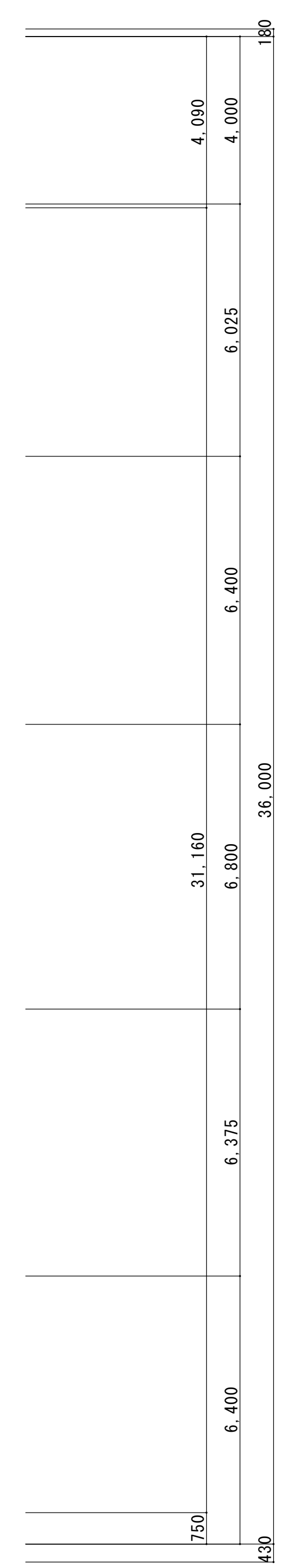
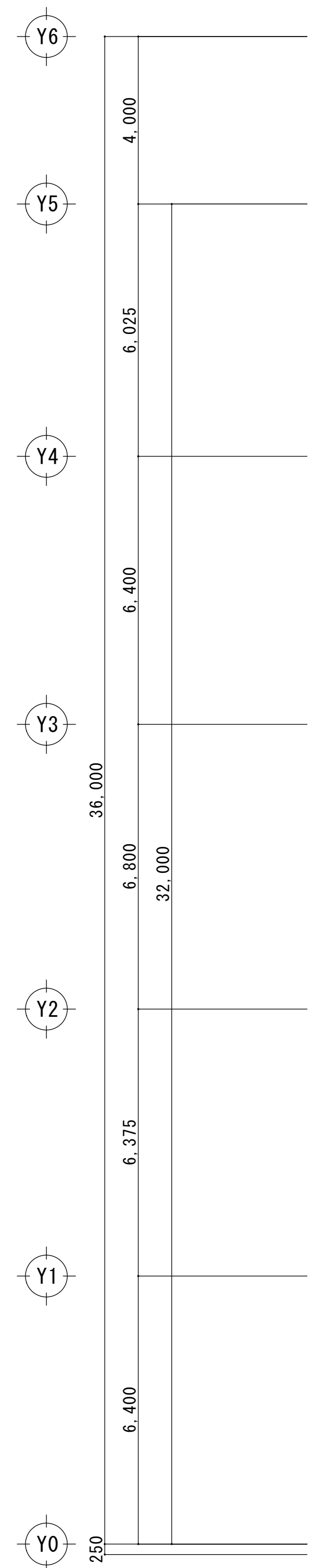
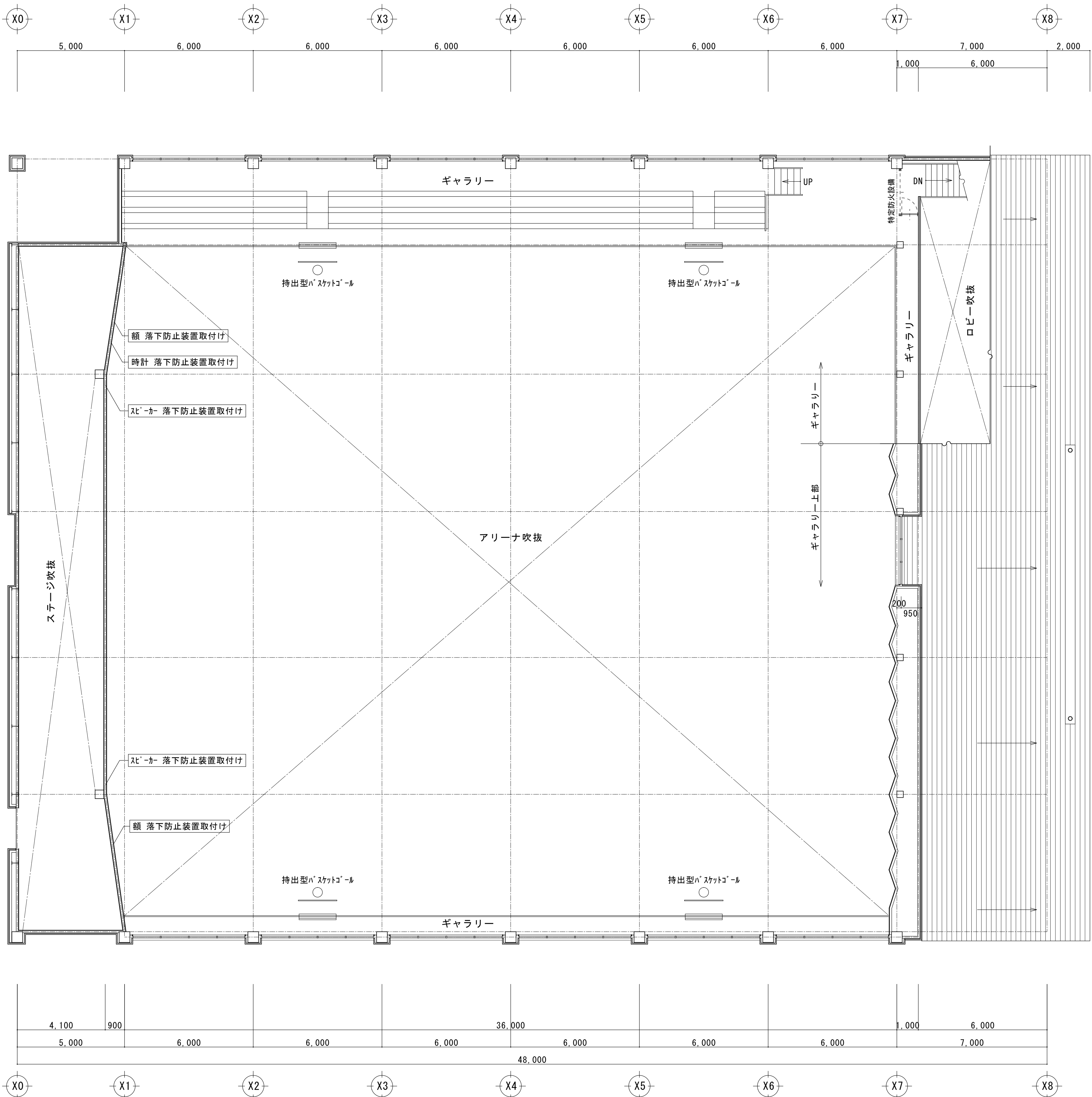
階	室 名	区 分	床 仕 上	巾 木	壁 仕 上	天 井 仕 上	天 井 高	備 考	室 名
1 階	ア リ ー ナ	現 況	鋼製床下地 ラワン合板 t12下張り サワラフローリング t18 サンダー掛け ウレタン3回塗り	木製巾木 H=100 OP	長尺横羽目合板 t8.5（ラワン合板 t9下張り） シナ合板t6目透かしOS、ラワン合板 t9目透かしOP	吸音パネル t 35吊り天井 OP 一部ラワン合板t5.5 OP	9,000～18,000	体育器具 コートライン 防球ネット 暗幕 電動スクリーン	ア リ ー ナ
		改修後	鋼製床組み補強(床下)	既存のまま	既存のまま	既存天井吸音パネル撤去（下地共）の上 軽量天井（2kg/㎡以下）張り スリット部：防球ネット張り（♯リエフレン製 450d/40本 37.5mmφ）レ（ワイヤ→取付金具） 既存エキスパンドメタル部：開口部750x750程度x45か所同材（T6W9）塞ぎ SOP	—	既存天井アルミルーバー撤去 既存壁掛備品類（時計、スピーカー、額） 落下防止装置取付け 新設天井下地受材設置：□=100x100x2.3x24本 SOP	
	ス テ ー ジ	現 況	鋼製床下地 ラワン合板 t12下張り サワラフローリング t18 サンダー掛け ウレタン3回塗り	木製巾木 H=75 OP	ラワン合板 t 9目透かし張り OP	ブドウ棚下部現わし	8,800	緞帳及び幕 バトン類一式 緞帳吊用ブラケット ひな壇 プロセニウムアーチ（ボンデ鋼板 t2.3加工）舞台框 床下収納カート	ス テ ー ジ
		改修後	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	—		
2 階	ギャ ラ リ ー	現 況	モルタル金コテ カラクリート仕上 一部 チェッカープレート OP	木製巾木 H=75.135 OP	押出成形セメント板 t50 アクリル系吹付けタイル	吸音パネル t 35吊り天井 OP 有孔ラワン合板 t5.5 目透かし OP	—		ギャ ラ リ ー
		改修後	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存天井吸音パネル撤去（下地共）の上 軽量天井（2kg/㎡以下）張り スリット部：防球ネット張り（♯リエフレン製 450d/40本 37.5mmφ）レ（ワイヤ→取付金具） 既存エキスパンドメタル部：開口部750x750程度x45か所同材（T6W9）塞ぎ SOP			
						軽量天井材の参考メーカー・商品 山洋工業㈱：イアルSZ、桐井製作所：安心天井S、帝人フロンティア㈱：かるてん、 旭ビルド工業㈱：SLC、㈱和紙空間：かる〜い天井、			

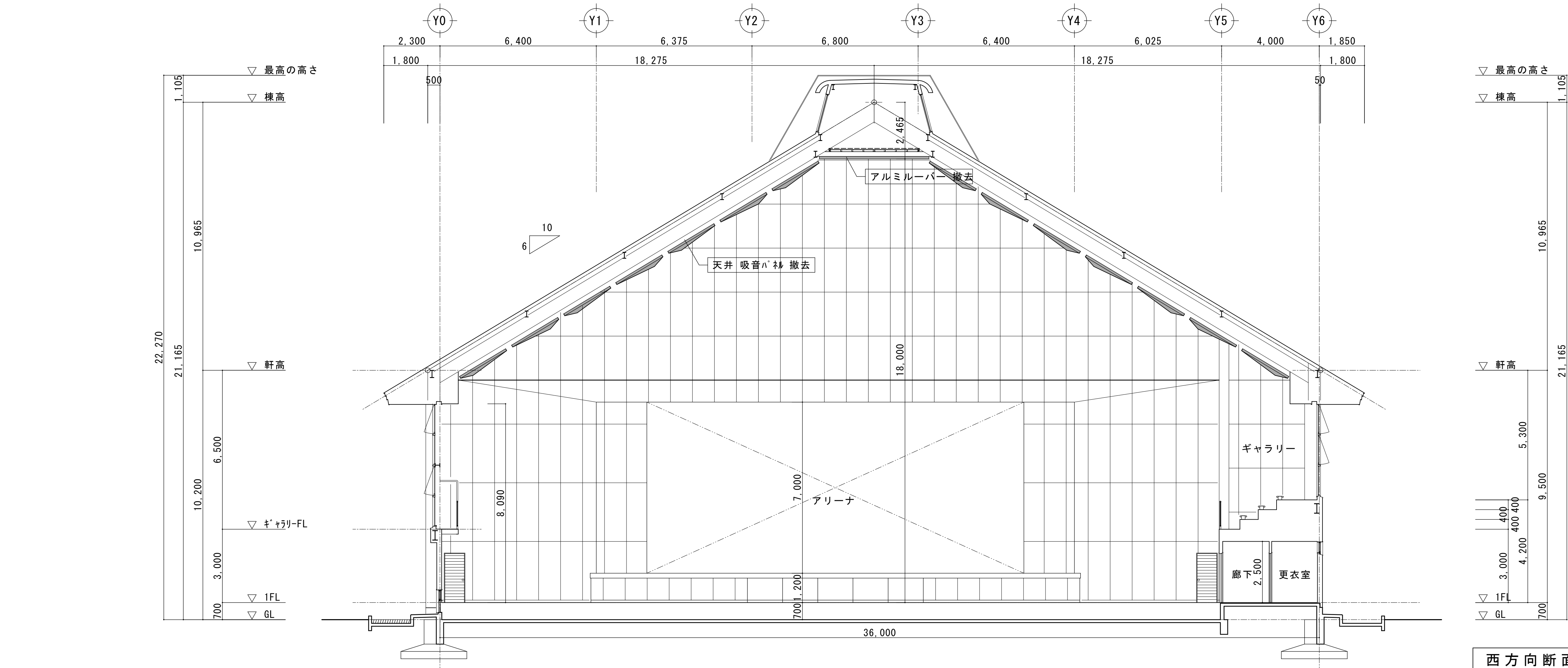
工 事 概 要 表 ・・・10/13.14・10/20.21は、体育館使用予定のため工事不可。



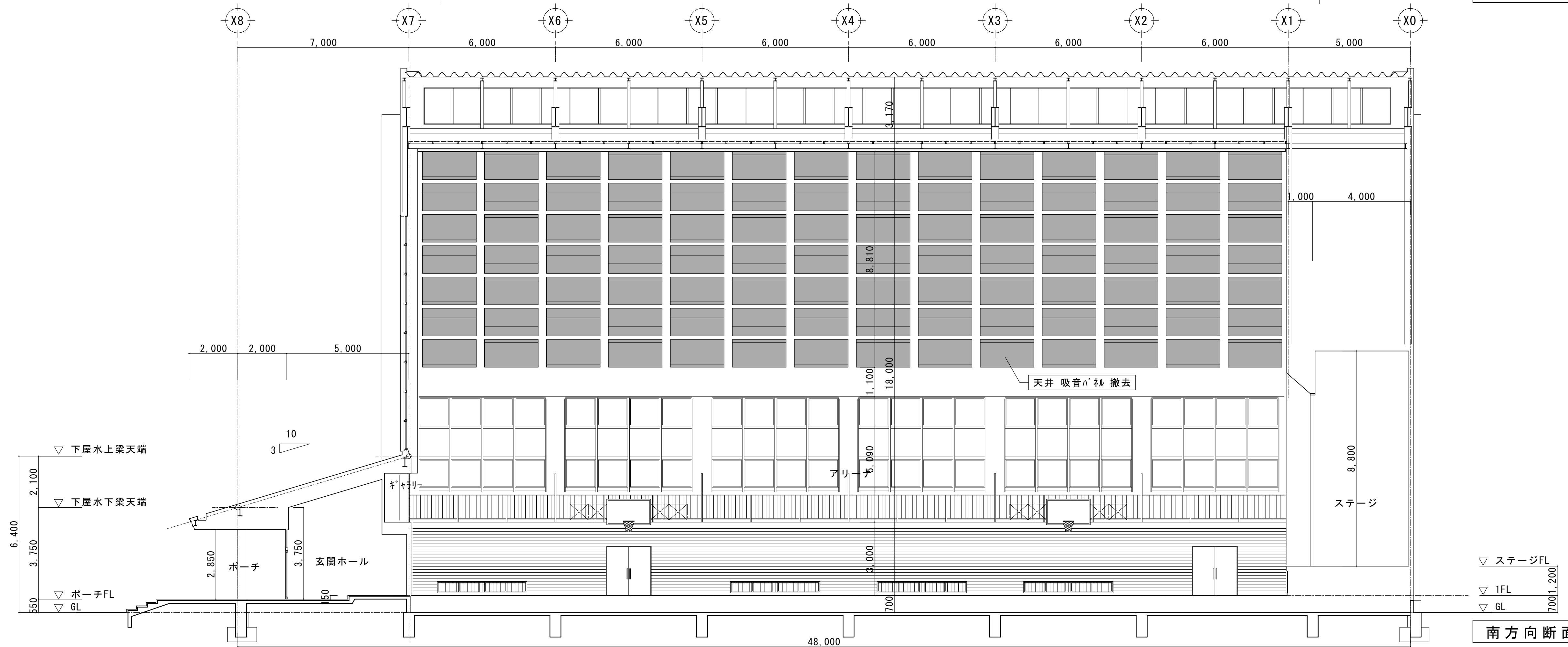


MEMORANDUM	TITLE	ITEM	SCALE	DATE	CHECK-DRAWING	 <b>株式会社 創和設計</b> 長野県上伊那郡箕輪町 2674-1 TEL0265-79-1222 (代) 長野県塩尻市大門泉町 509 TEL0263-52-6972 (代) 一級建築士 大庭登輝 第352433号 一級建築士事務所登録 (伊那) G第37121号 小 河 豪		SHEET NO.
	箕輪町体育館吊り天井等耐震改修工事	[社会体育館] 1 階 平 面 図	A1:1/100 A3:1/200	R02.03	一級建築士 第352433号 小河 豪 一級建築士 第352433号 有賀 修司			A-17 / 34



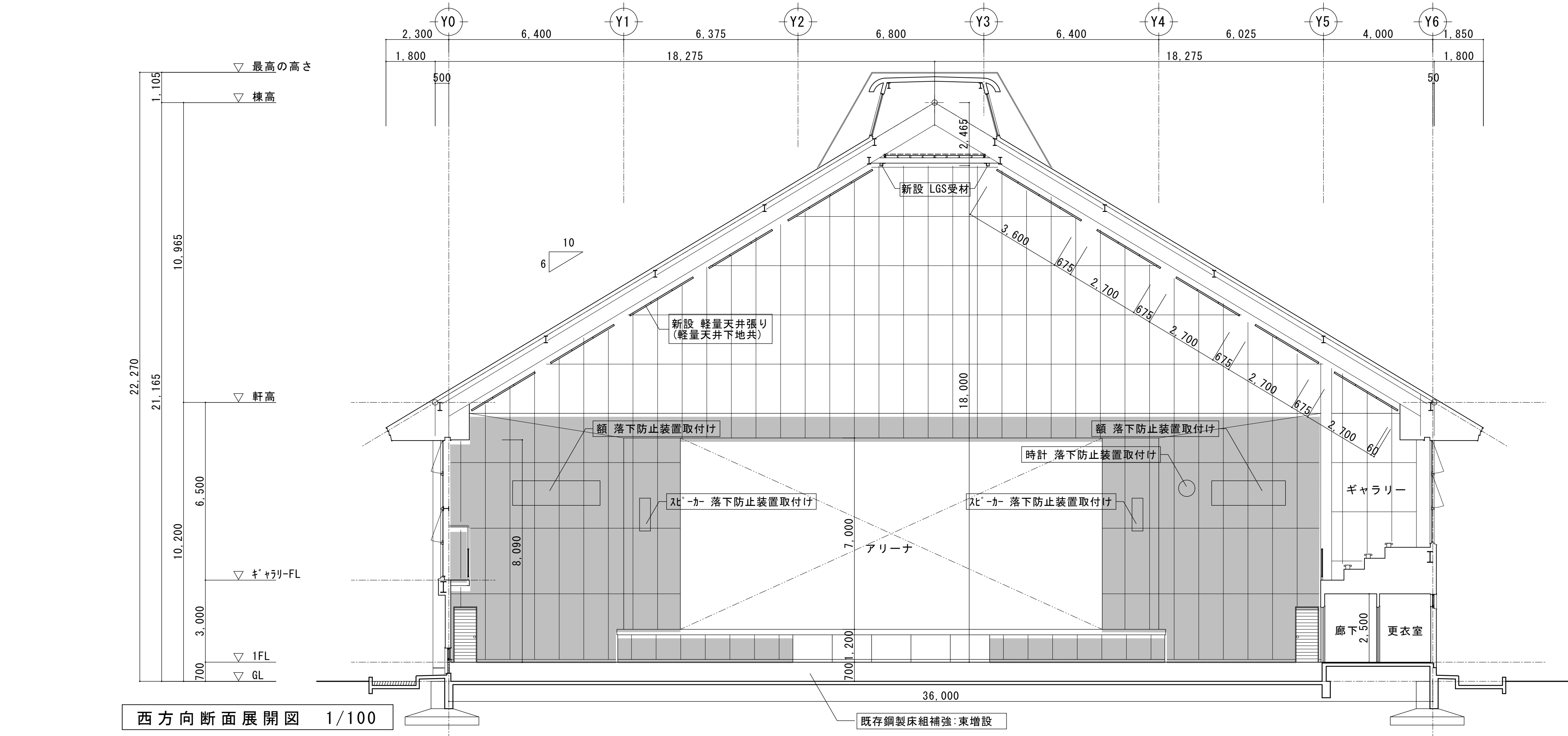


西方向断面展開図 1/100

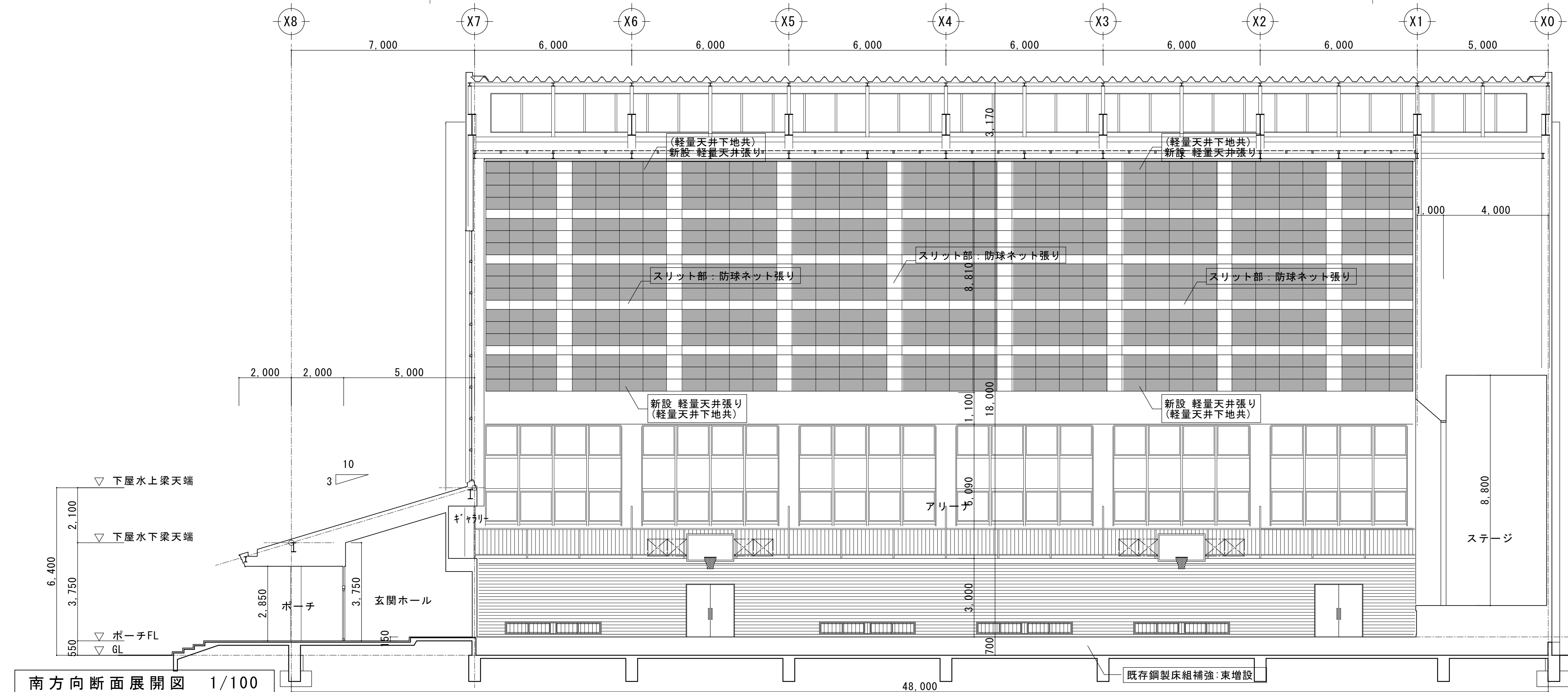


南方向断面展開図 1/100

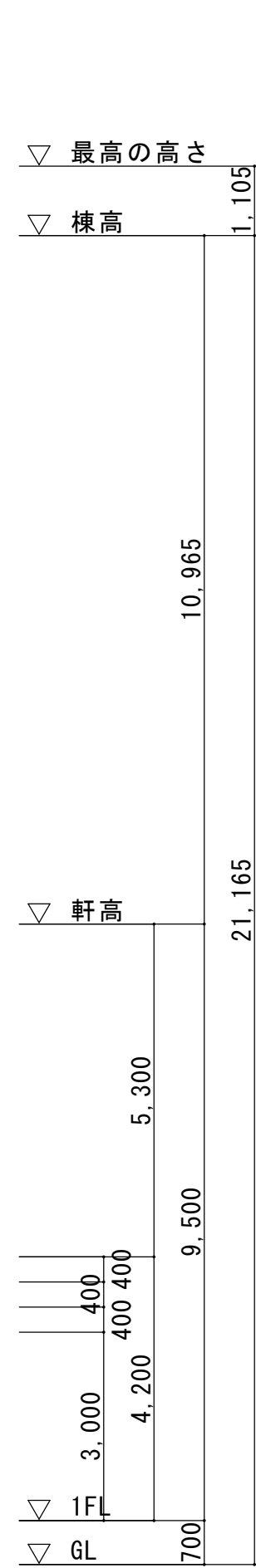




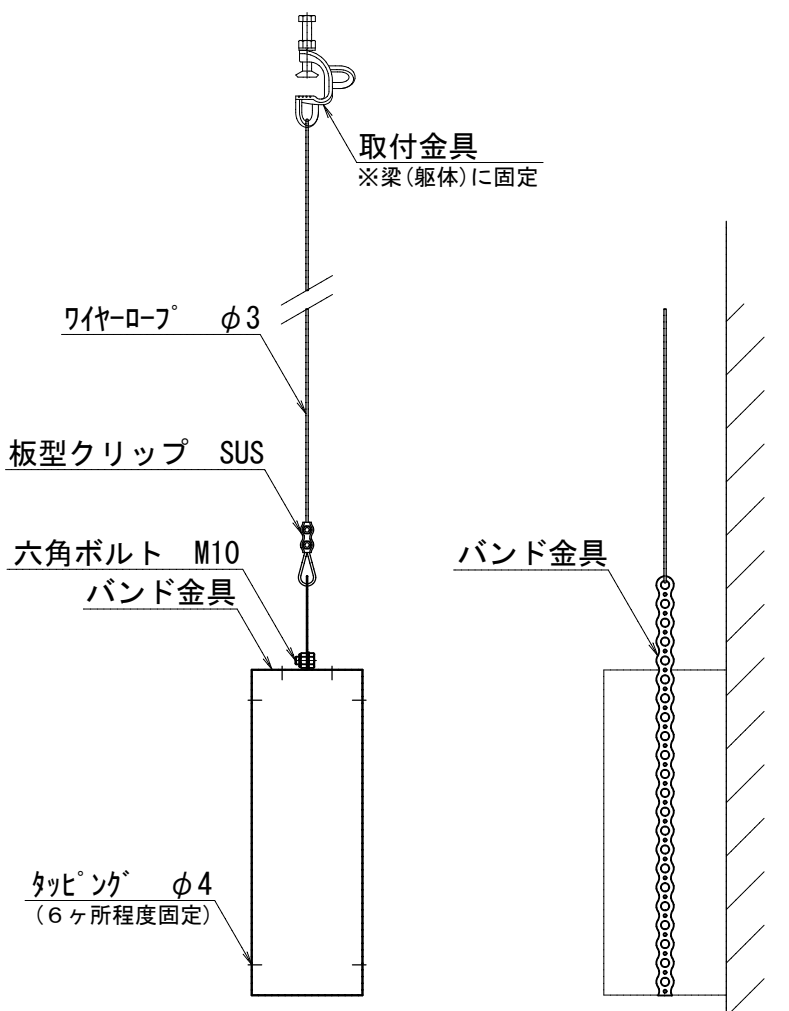
西方向断面展開図 1/100



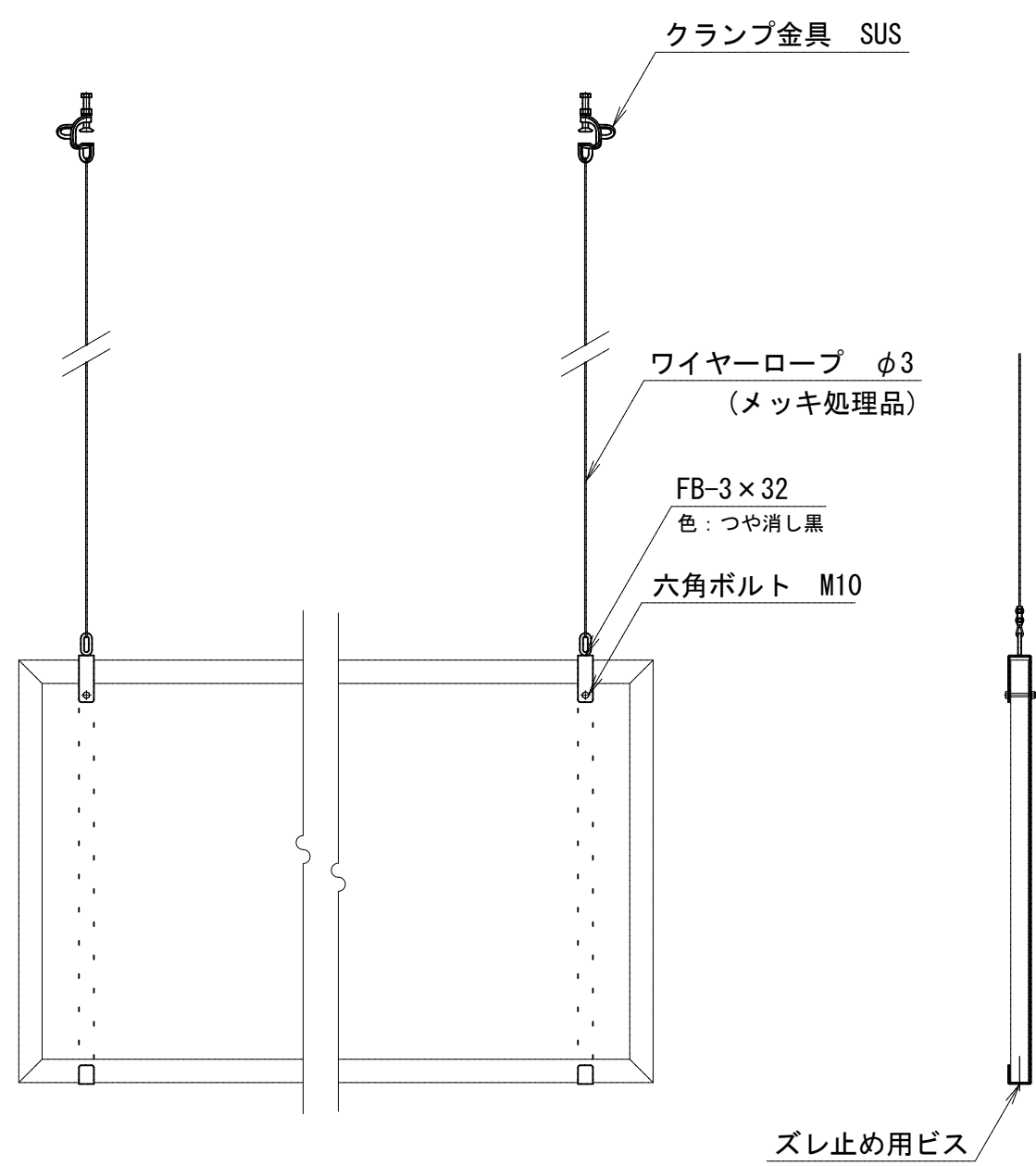
南方向断面展開図 1/100



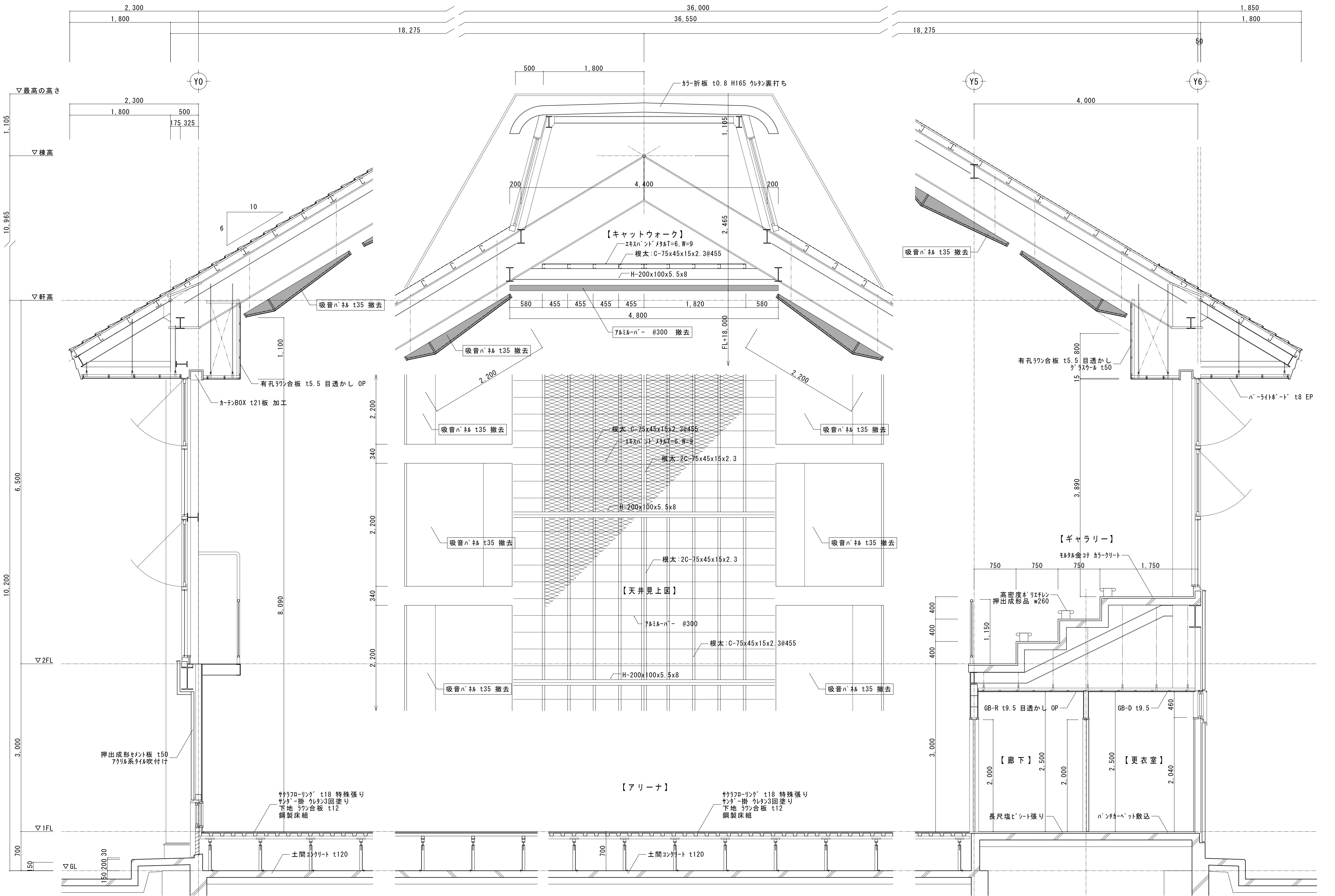
<時計用落下防止装置> 1/10


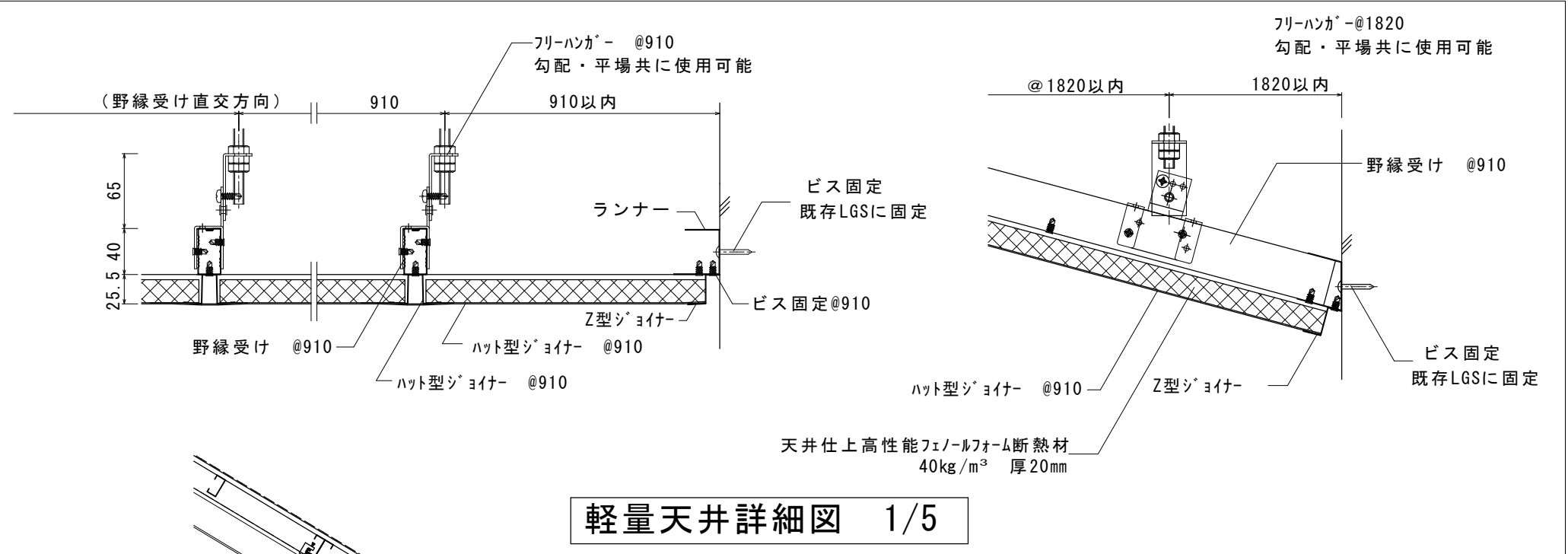


<スピーカー用落下防止装置> 1/10

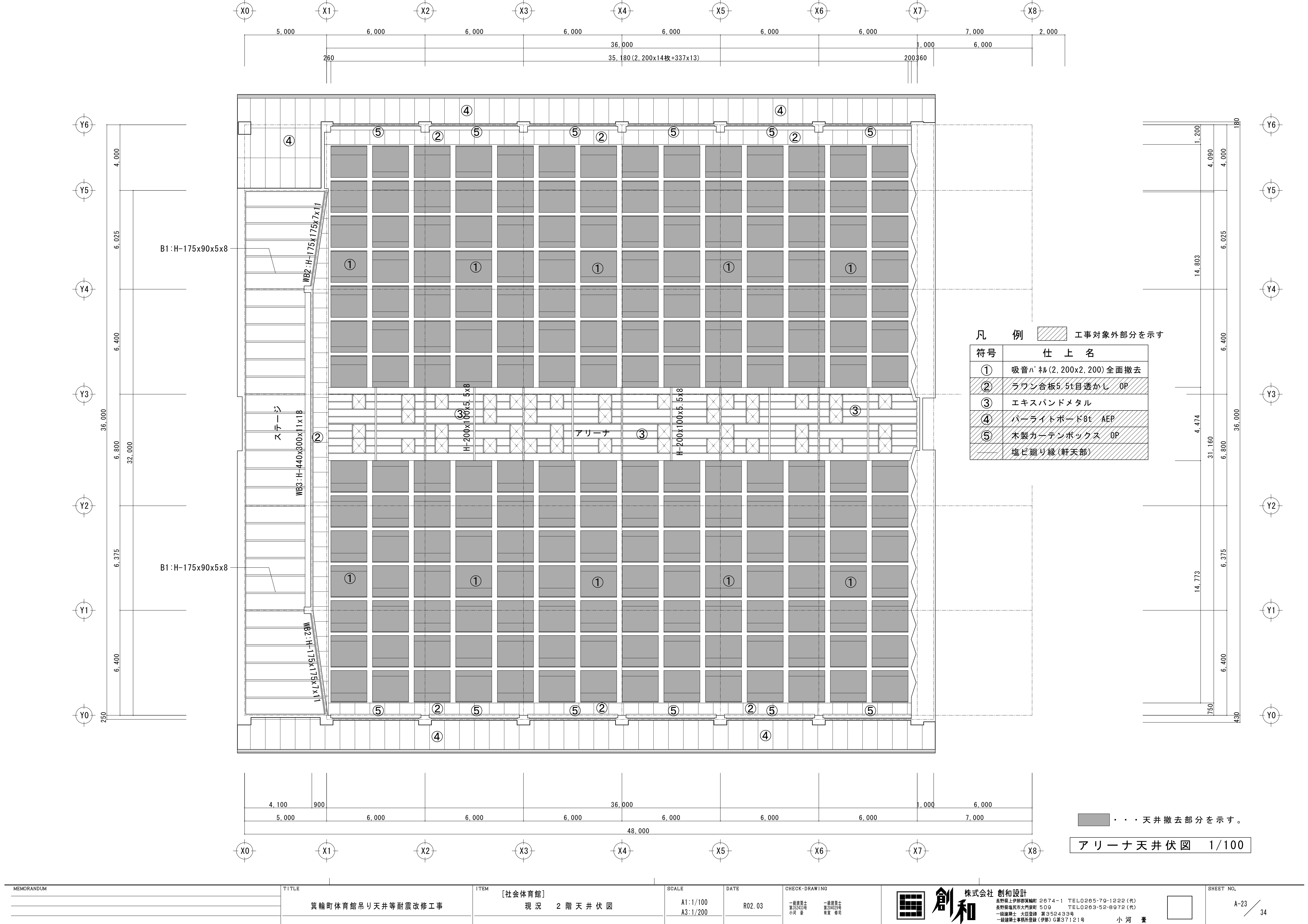


<額用落下防止装置> 1/15

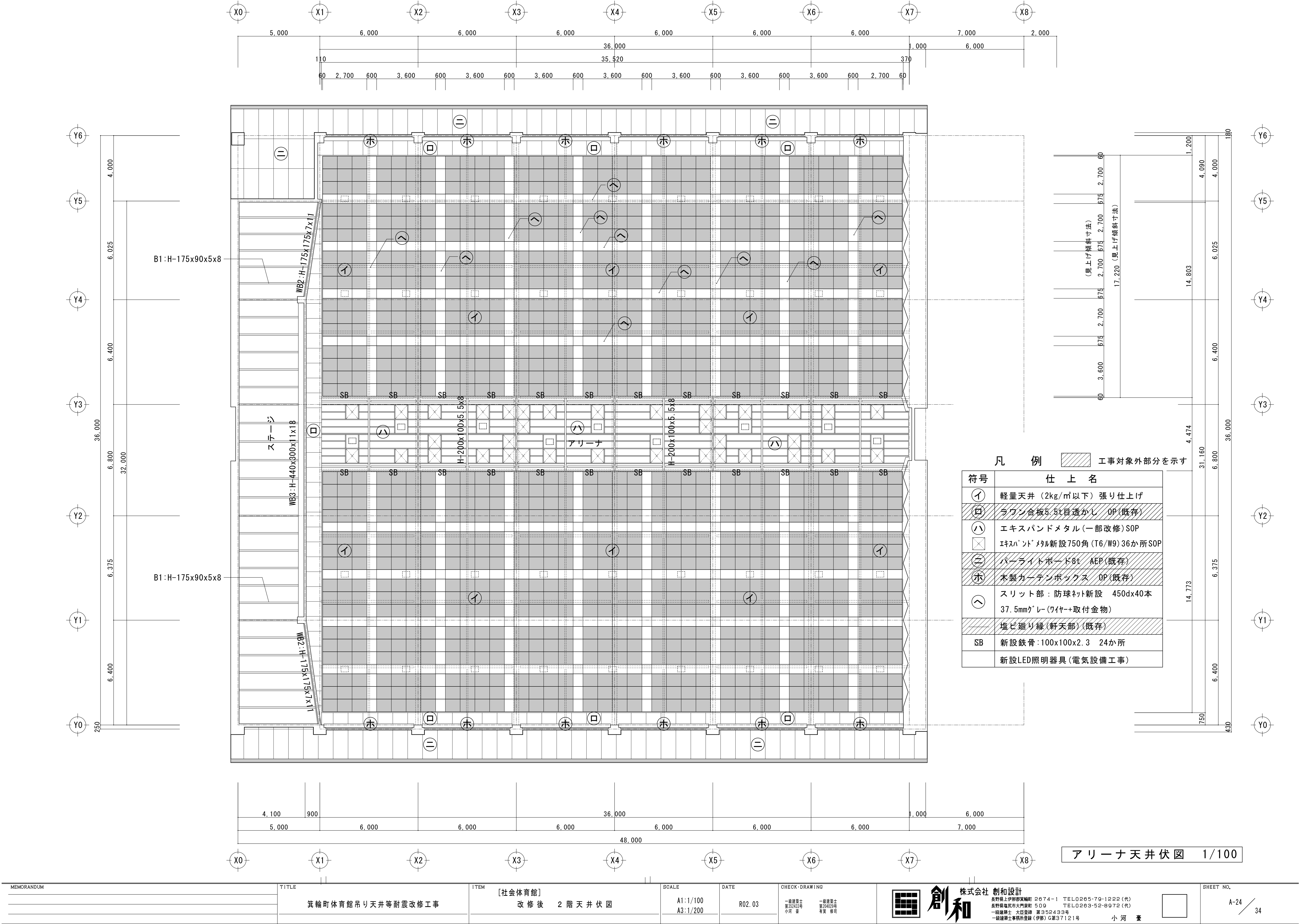


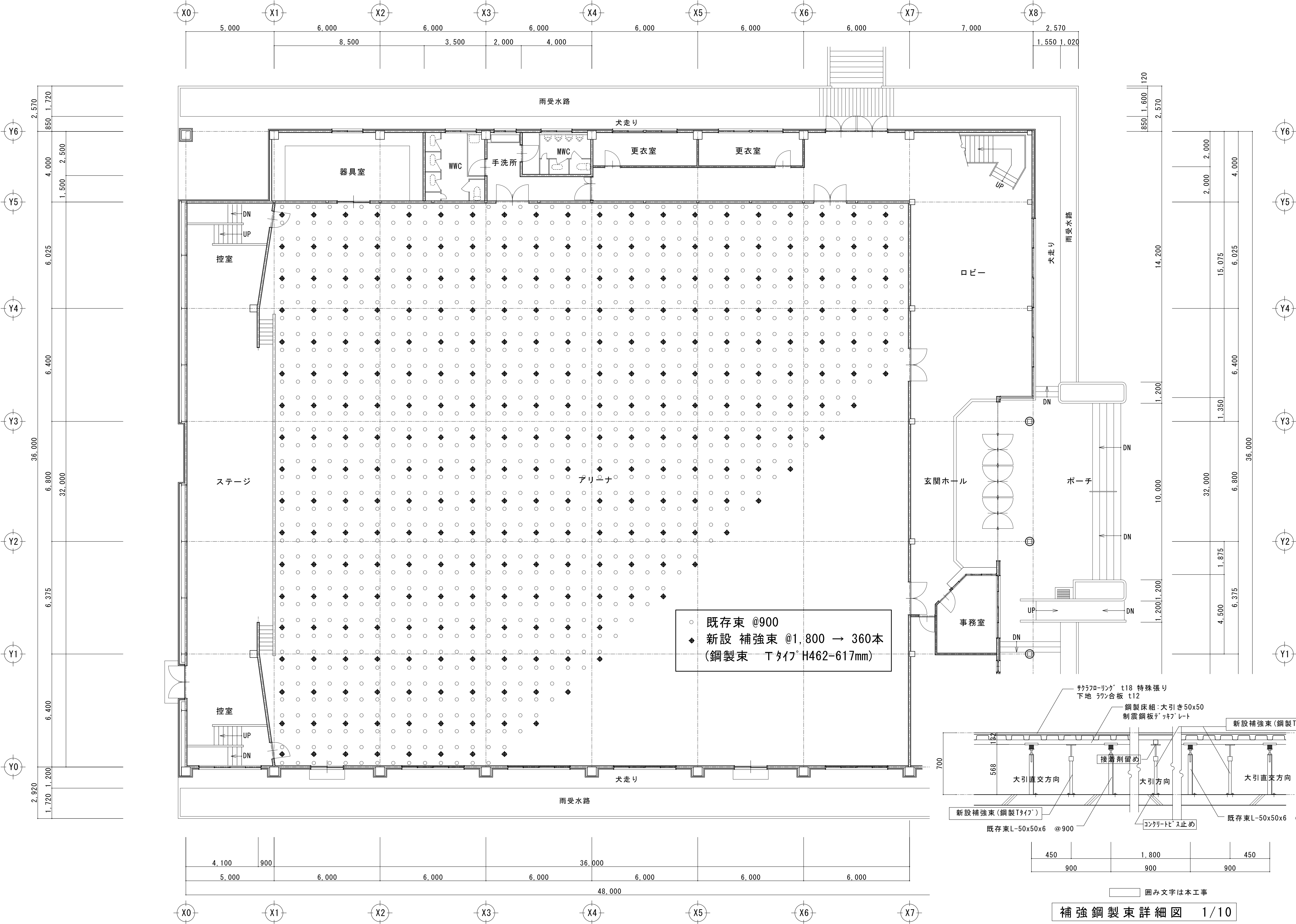


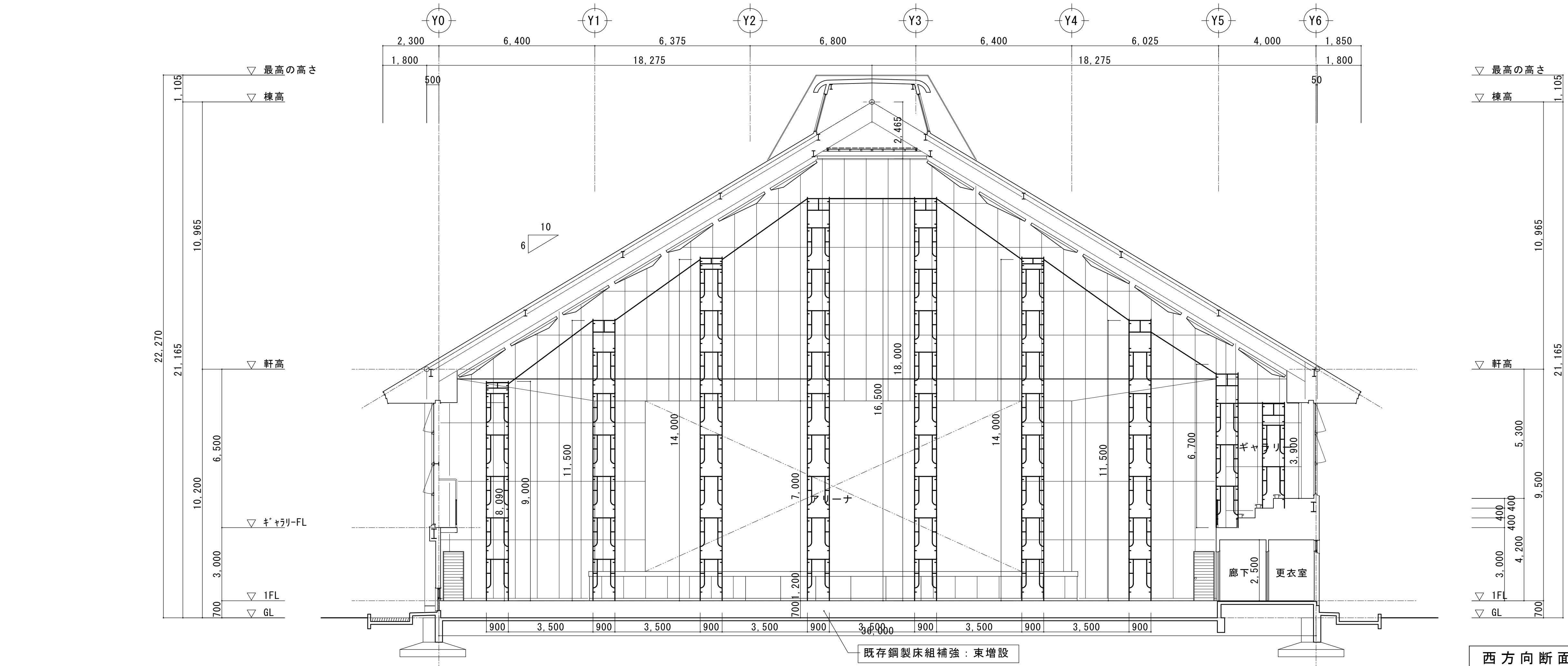
創和 株式



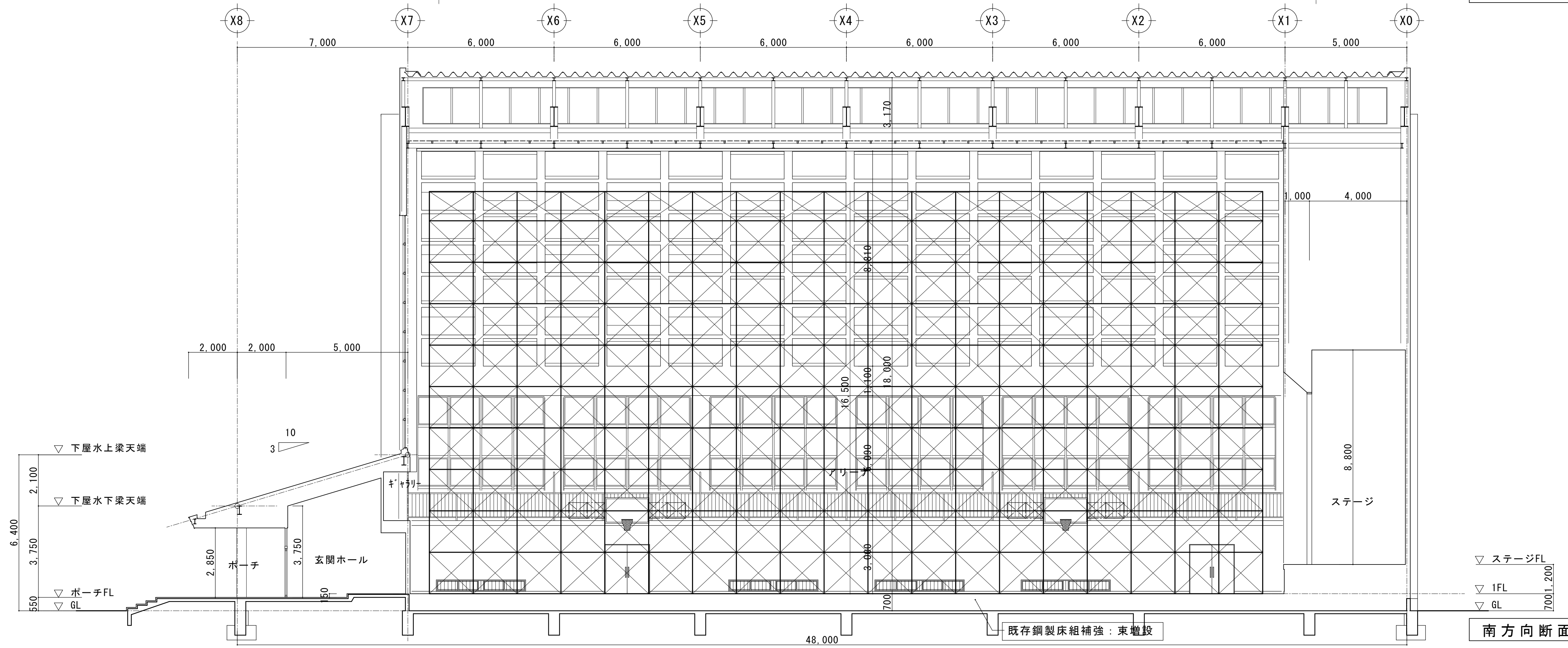








西方向断面展開図 1/100



南方向断面展開図 1/100



## 箕輪町体育館吊り天井等耐震改修工事（藤ヶ丘体育館）

# 電気設備工事特記仕様書

## 1 工事概要

1 工事場所 長野県上伊那郡箕輪町

## 2 建物概要

建 物 名 称	構 造	階 数	延 面 積 (㎡)	消防法施行令 別表第一の区分	備 考
藤ヶ丘体育館	S	2	1,758.19	( )	
				( )	

3 工事種目 (○印のついたものを適用する。)

工 事 種 目	項 目	建 物 別 及 び 屋 外			
		体育館			
電 灯 設 備	撤去、新設	○			
動 力 設 備	幹線、分岐				
電 熱 設 備	幹線、分岐				
雷 保 護 設 備					
受 変 電 設 備					
電 力 貯 蔵 設 備					
静 止 形 電 源 設 備	直流電源装置				
発 電 設 備					
構内情報通信網設備	LAN				
構内交換設備	配線・機器別途				
情報表示設備	時計設備				
映像・音響設備					
拡 声 設 備					
誘 導 支 援 設 備	トイレ呼出し設備				
テレビ共同受信設備					
監視カメラ設備					
駐車場管理体制設備					
防犯・入退室管理設備	予備配管				
自動火災報知設備	一時撤去、復旧	○			
自動閉鎖設備					
非常警報設備	非常放送装置				
ガス漏れ警報設備					
中央監視制御設備					
構内配電線路					
構内通信線路					
昇 降 機 設 備					

#### 4 図 面 目 録

番 号	図 面 名 称	番 号	図 面 名 称
1	電気設備特記仕様書	21	
2	2階電気設備図	22	
3	アリーナ新投票所取付詳細図	23	
4	2階電気撤去図	24	
5		25	
6		26	
7		27	
8		28	
9		29	
10		30	
11		31	
12		32	
13		33	
14		34	
15		35	
16		36	
17		37	
18		38	
19		39	
20		40	

## II 工事仕様

1 共通仕様

- (1) 図面及び手引記仕様事に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁常務秘書の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（平成25年版）」（以下、「標準仕様書」という。）、「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（平成25年版）」（以下、「改修標準仕様書」という。）、及び「公共建築設備工事標準図面（電気設備工事編）（平成25年版）」（以下、「標準図面」という。）による。
- (2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。
- （参考図書：長野県建築工事の手引き（以下、「手引き」という。）（平成31年版）長野県建設部施設施設整備

## 2 特記仕様

特記仕様は別紙「特記仕様書（共通事項）」によるほか次の各項目による。

- (1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
- (2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。

項	目	特	記	事	項
---	---	---	---	---	---

- |              |   |
|--------------|---|
| ① 機材等        | <p>本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等なものとする。</p> <p>ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。</p>                       |
| ② 機材の品質・性能証明 | <p>下表に示す材料・機材等（○印のもの）の製造者等は次の1)から6)のすべての事項を満たすものとし、この証明とある資料または外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出し監督員の承諾を受ける。</p> |

材 料 ・ 機 材 名	材 料 ・ 機 材 名
○ LED照明器具	・
・	
・	○ その他、監督員の指示によるもの
○ (社)公益建築協会による「建築材料・機材等品質性能評価事業」における評価対象となる電気設備機材	

- 1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。
- 2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。
- 3) 安定的な供給が可能であること。
- 4) 法令等が定める場合は、その許可・認可・認定または免許を取得していること。
- 5) 製造または施工の実績があり、その信頼性があること。
- 6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること。

- 3 化学物質を発散する 本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有する建築材料等  
ものとし、次の（１）から（５）を満たすものとする。

- (1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ウリア樹脂板、仕上り塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。
- (2) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。
- (3) 接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。
- (4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。

- (5)上記(1)、(3)及び(4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。
- なお、ホルムアルデヒドを放散しないものとは放散量が規制対象外のものを、ホルムアルデヒドの放散が極めて少ないものとは放散量が第三種のものをいい、原則として規制対象外のものを使用するものとする。

ただし、該当する材料等がない場合は、第三種のものを使用す  
また、「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。

ホルムアルデヒドの放散量	該 当 す る 建 築 材 料
規 制 対 象 外	①JIS及びJASのF☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 a 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b 接着剤等不使用 c 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用 d ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 e 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用 f 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用
	①JIS及びJASのF☆☆☆規格品
	②建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品
	③旧JISのE○規格品
	④旧JASのF○○規格品
第 三 種	

- |                    |   |
|--------------------|---|
| ① 施工条件明示項目         | ○公共建築物工事積算基準の解説(設備工事編)の「執務並行改修」   |
| ② 電気保安技術者          | 工事現場の電気工作物(電路、自動扉、自動シャッター、電動機等も含む)の保安業務を行うものとする。  |
| ③ 電気工事士            | 契約電力500kW以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工を行う。  |
| ④ 実施工程表及び<br>施工計画書 | (1)実施工程表、総合施工計画書は、工事着手に先立ち速やかに提出する。<br>(2)工程別の施工計画書は、当該工事に先立ち速やかに提出し、品質計画に係る部分は監督職員に承諾を受けること。<br>使用材料名、製造業者名、発注先等を記載した圖書を作成し提出する。   |
| ⑤ 使用材料発注図書         |   |
| ⑥ 発生材料の処理          | (1)引渡しを要するもの・無・有( )<br>(2)引渡しを要するもの以外○構外搬出し、関係法令により適切に処理をする。<br>(3)特別管理産業廃棄物・無・有(PCB使用機器:関連法令により適切に処理し建物管理者に引き渡す。)<br>(4)再利用又は再資源化を図るもの<br>○無・有(・廃棄光管・コンクリート・木材・アスファルト・金属くず・ダンボール類) |
| ⑦ 監督員事務所           | ○設けない・設ける(規模)<br>・備品( )   |
| ⑧ 工事用仮設物           | すべて請負者の負担とする。<br>構内に作ることが・できる・できない  |
| ⑨ 足場・さん棚類          | ○別契約の関係請負者が設置したものは、無償で使用できる。<br>○本工事で設置する。<br>○内部仮設足場等(・架台足場・移動式足場・移動式室内足場・外部足場)<br>(・A種[施工箇所面に枠組足場を設ける。]・B種[施工箇所面に単管本足場を設ける。]<br>・C種[仮設ゴンドラを使用する。]・D種[移動式足場を使用する。])                |
| ⑩ 工事用電力・水、その他      | 本工事に必要な工事用電力、水等の費用及び官公署その他の関係機関への諸手続等に要する費用は請負者の負担とする。  |

項 目	特 記 事 項																																																										
14 工 事 写 真	工事の着手に先立ち、撮影計画の作成を行い、監督職員へ提出すること。																																																										
15 しゅん工時提出物	標準仕様書及び別表による。																																																										
16 再 使 用 機 器	取外し再使用機器は、原則として清掃及び絶縁抵抗測定を行った後取り付ける。 ただし、絶縁劣化等で使用に耐えない場合は、監督職員に報告する。																																																										
17 耐 震 施 工	設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」：監修（独）建築研究所」による。なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し承諾を受けるものとする。 (1)設計用水平地震力 機器の重量〔kgf〕に、設計用標準水平地震度を乗じたものとする。 なお、特記なき場合、設計用標準水平地震度は次による。																																																										
	設計用標準水平地震度																																																										
	<table><tr><th rowspan="2">設置場所</th><th rowspan="2">機器種別</th><th colspan="2">○特定の施設</th><th colspan="2">・一般の施設</th></tr><tr><th>重要機器</th><th>一般機器</th><th>重要機器</th><th>一般機器</th></tr><tr><td rowspan="3">上層階、 屋上及び塔屋</td><td>機 器</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td>防振支持の機器</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>1.5</td></tr><tr><td>水槽類（※1）</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td rowspan="3">中 間 階</td><td>機 器</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td>防振支持の機器</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td>水槽類（※1）</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td rowspan="3">地下・1階</td><td>機 器</td><td>1.0</td><td>0.6</td><td>0.6</td><td>0.4</td></tr><tr><td>防振支持の機器</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td>水槽類（※1）</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr></table>	設置場所	機器種別	○特定の施設		・一般の施設		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階、 屋上及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5	水槽類（※1）	2.0	1.5	1.5	1.0	中 間 階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0	水槽類（※1）	1.5	1.0	1.0	0.6	地下・1階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6	水槽類（※1）	1.5	1.0	1.0	0.6
設置場所	機器種別			○特定の施設		・一般の施設																																																					
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																																																						
上層階、 屋上及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0																																																						
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5																																																						
	水槽類（※1）	2.0	1.5	1.5	1.0																																																						
中 間 階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6																																																						
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0																																																						
	水槽類（※1）	1.5	1.0	1.0	0.6																																																						
地下・1階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4																																																						
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6																																																						
	水槽類（※1）	1.5	1.0	1.0	0.6																																																						
	（※1）水槽類にはオイルタンク等を含む。																																																										
	◎重要機器の定義は次による。																																																										
	・変電設備 ・発電設備 ・直流電源設備 ・交流無停電電源装置 ・交換機 ・自動火災報知受信機 ・中央監視装置 ・																																																										
	◎上層階の定義は次による。																																																										
	2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、 10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。																																																										
	(2)設計用鉛直地震力 設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。																																																										
18 あと施工アンカー	公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）8章2節8.2.4及び11節による。 確認試験は、・性能確認試験（ 本 ）・施工後確認試験（ 本 ）を確認強度〔 〕kNにて行う。 ・施工上の適用（第1種、第2種）あと施工アンカー施工による。																																																										
19 防火区画等の 貫 通 処 理	電線等が、防火区画又は防火上主要な間仕切りを貫通する場合の施工状況について、貫通箇所の両面から写真撮影し、工事写真として提出する。																																																										
20 電 線 ・ ケーブル	(1) EM-EFF は紫外線による劣化を抑止する性能を持たせ、「タフゲイ」EM-EFF」と表記されたものを使用する。 (2) EM-UTP は JIS X 5150「構内情報配線システム」に準じ、絶縁材料及びシースに JIS規格による EM-ケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの。																																																										
21 予 備 配 管	埋込分電盤からの立上り予備配管は、予備の配線用遮断器4個以下の場合は(25)を1本5個以上の場合は(25)を2本、天井まで立上げる。																																																										
22 呼 び 線	長さ1m以上の入線しない電線管には、1.2mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。																																																										
23 金属製電線管の塗装	下記の露出配管は塗装を行う。 ・屋 外 ・ 屋 内（機械室）																																																										
24 埋 め 戻 し 土	・A種（山砂の類：水締め、機器による締固め） ○B種【掘切り土の中の良土：機器による締固め】 ・C種【他現場の建設発生土の中の良土：機器による締固め】 ・D種【再生コンクリート砂：水締め、機器による締固め】 ・管の下部は50mm以上砂を敷きならし、管の上部100mm以上砂を用いて締め固める																																																										
25 建設発生土の処理	・堆外搬出処理 ・構内の指定場所に敷き均し																																																										
26 ケーブル埋設票	(1) 地中線路には、ケーブル埋設票をもうける。 ・鉄製 ・コンクリート製 (2) 低圧地中配線にあっても地中線埋設標識シートを敷設する。																																																										
27 ブルボックス	(1) 露出するブルボックスの本体及びふたの仕上げは、メラミン焼付塗装とする。 (2) 露出するブルボックスのふたの止めねじは化粧品とする。																																																										
28 フラッシュプレート	図面に特記あるもの及び特殊なものを除き ○金属製 ・樹脂製																																																										
29 プレートの用途表示	ブルボックス、ジョイントボックス及び機器を安装しないプレートには、用途を明示した略称をつける。																																																										
30 配 線 器 具	タフスイッチは運用形とする。 壁付けコンセント(2P15A)は原則として運用形とする。ただし、2口の場合は様式を使用して良い。また(2P15A)以外はすべてキャップ付とする。 本工事の動力制御盤より別途電機等への配線の接続は本工事とする。																																																										
31 機 器 へ の 接 続	・ 測定場所： ・ 各室（測定箇所数） ・ 廊下 ・ 階段 用 途： ・ 非常照明 ・ 一般照明																																																										
32 照 度 測 定	・ 学校施設における室内照度測定（測定教室： 箇所、測定黑板面： 箇所） ※教室の照度は、1教室当たり机上面9か所、黑板垂直面9か所で測定する																																																										
33 盤 類	(1) 分電盤等の図面ホルダーに、単線結線図・絶縁抵抗測定表・接地抵抗測定表を収納する。 (2) 端子盤には、線番書・結線表を備え付ける。																																																										
34 グリーン購入の推進	長野県グリーン購入推進方針に基づく調達項目 <資材> ・ 照明制御システム ・ 変圧器 ・（ ） <建設機器> ・ 排出ガス対策型建設機器 ・ 低騒音型建設機器																																																										
35 他工事又は他工種との取り合い	工事区分表（平成 年版）による。ただしこれにより難しい場合は監督職員と協議する。																																																										
36 その他及び電子納品	保険等の各種措置及び電子納品については、別途「特記仕様書(共通事項)」による。 (長野県公営ホームページ(電子入札システム)に掲載される、当該入札公告の添付図書)																																																										
37 その他	・ 施工制約条件																																																										

- (別表) しゅん工時提出物 (・に○印のついたものを提出する。)

個 別 提 出 物	一 括 提 出 物
1 完成図 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原図（Ａ１版 ケース入り）</li> <li>○ 降図（Ａ１版 ２つ折り製本 １部）</li> <li>○ CADデータ（jww及びpdf形式）</li> <li>・</li> </ul>	5 機器完成図 <ul style="list-style-type: none"> <li>6 工事写真</li> <li>7 完成写真</li> <li>8 工事記録（打合せ簿、工事日誌、協議書）</li> <li>9 機材の試験成績書</li> <li>10 施工の試験成績書</li> <li>11 社内試験成績書</li> <li>12 発生材処理報告書</li> </ul>
2 設計図 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ CADデータ</li> </ul>	（廃棄物処理実施書、運搬及び処理の委託契約書の写し、マニフェストの写し、フロー図）
3 引渡書	
4 納入品 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 予備品 ・ 盤類の鍵</li> <li>・ ハンドホールフック、ジャッキ</li> </ul>	13 納入品一覧表 <ul style="list-style-type: none"> <li>14 官公署手続、検査書（管理用正本、写し）</li> <li>15 保全に関する資料（取扱説明書も含む）</li> </ul>

### 3 ハンドホール

下表による。(橋柱に各ハンドホールに設置する。蓋取外周にジッキを1組納入する。)

ボックハンドホール	(寸法は内法を示す。底部とはハンドホール内側底部をいう。)
・コンクリート相互間などは、エポキシ系樹脂接着剤により接着する。	
・ブロックの仕様は国土交通省仕様に至るものとする。	
・ハンドホールにノックアウト部分を設定はならない。	
・配管貫通時は、原則として根巻きコフ(フ=18mm以上)とし、差し筋D10タテコ#200で補強する。	
・補強方法については、あらかじめ監督員にパッド部取替図を提出し承認を受け施工する。	

ハンドホール No. -	1, 500×1, 500×1, 500 D 蓋 WPM-60A (エマーク入)	底部 GL-1, 740 以上 (アルミ梯子付)
ハンドホール No. -	1, 200×1, 200×1, 500 D 蓋 WPM-60A (エマーク入)	底部 GL-1, 700 以上 (アルミ梯子付)
ハンドホール No. -	1, 000×1, 000×1, 400 D 蓋 WPM-60A (エマーク入)	底部 GL-1, 600 以上 (アルミ梯子付)
ハンドホール No. -	1, 000×1, 000×1, 100 D 蓋 WPM-60A (エマーク入)	底部 GL-1, 300 以上 (アルミ梯子付)
ハンドホール No. -	1, 000×1, 000× 900 D 蓋 WPM-60A (エマーク入)	底部 GL-1, 060 以上 (アルミ梯子付)
ハンドホール No. -	900× 900×1, 100 D 蓋 WPM-60A (エマーク入)	底部 GL-1, 260 以上 (アルミ梯子付)
ハンドホール No. -	900× 900× 900 D 蓋 WPM-60A (エマーク入)	底部 GL-1, 060 以上 (既製足場付)
ハンドホール No. -	600× 600× 680 D 蓋 WPM-60A (エマーク入)	(既製足場付)
ハンドホール No. -	450× 450× 680 D 蓋 WPM-45B (エマーク入)	※積載等車道の通行の恐れがない場所、 収容ケーブルが少い場所に限る

#### 4 接地極



下表による。ただし、これによりがたい場合は監督員との協議による。

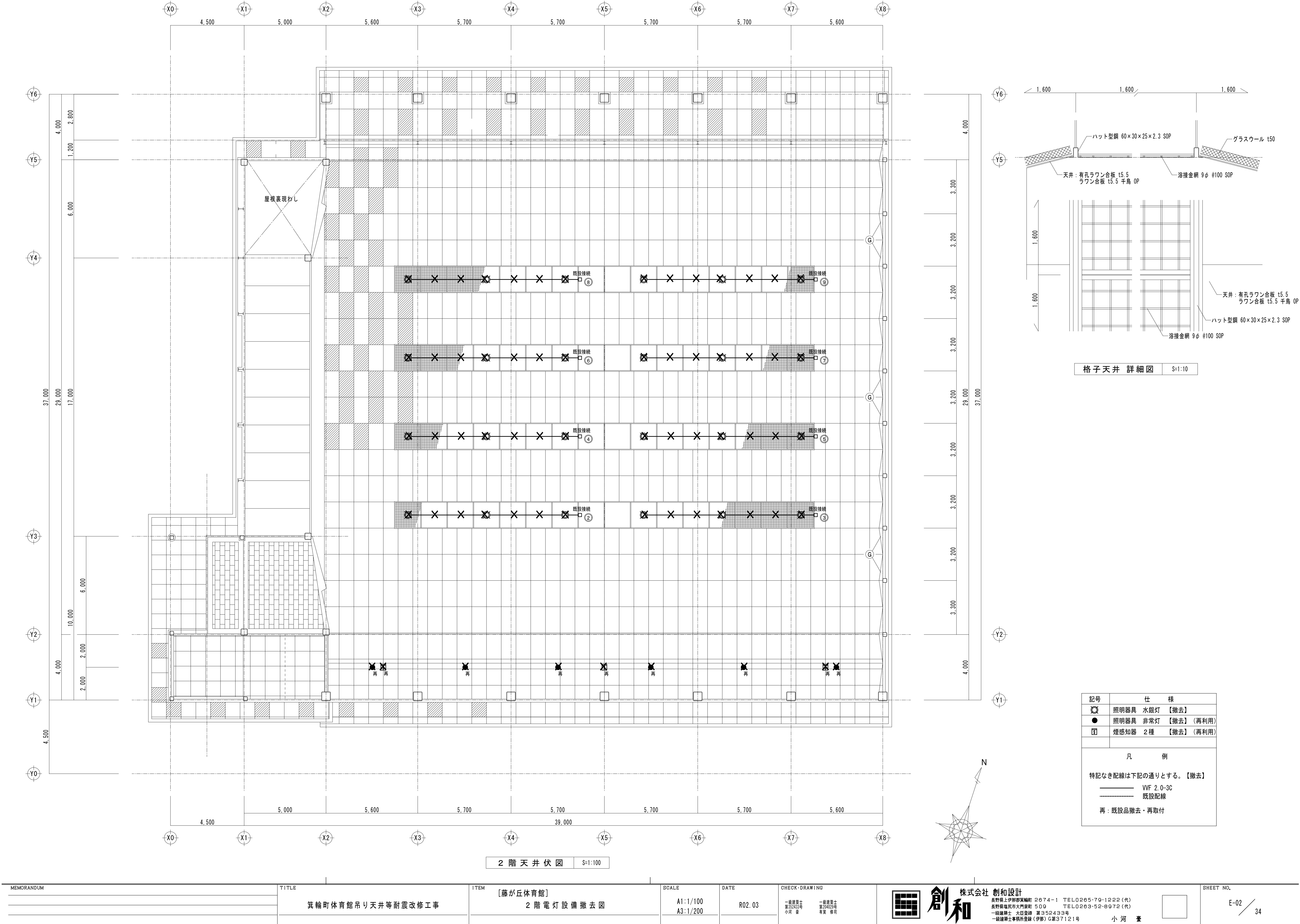
・	A 種 接 地	銅板 1.5t×900×900 リード端子付 塩剛埋戻し中心深さ	補助接地棒 (連結 1.0φ×1.500) 2m 埋設標 (黄銅製又はステンレス製)
・	B 種 接 地	銅板 1.5t×600×600 リード端子付 塩剛埋戻し中心深さ	補助接地棒 (連結 1.0φ×1.500) 2m 埋設標 (黄銅製又はステンレス製)
・	C 種 接 地	銅板 1.5t×300×300 リード端子付 塩剛埋戻し中心深さ	補助接地棒 (連結 1.0φ×1.500) 1.5m 埋設標 (黄銅製又はステンレス製)
・	D 種 接 地	接地棒 (1.0φ×1.500) リード端子付	打ち込み式 埋設標 (黄銅製又はステンレス製)

5 機器取付高

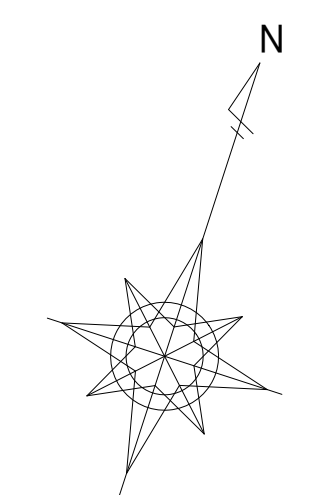
図面に特記なきものは下表を標準とする。但し下表によりがたい場合には監督員との協議による。

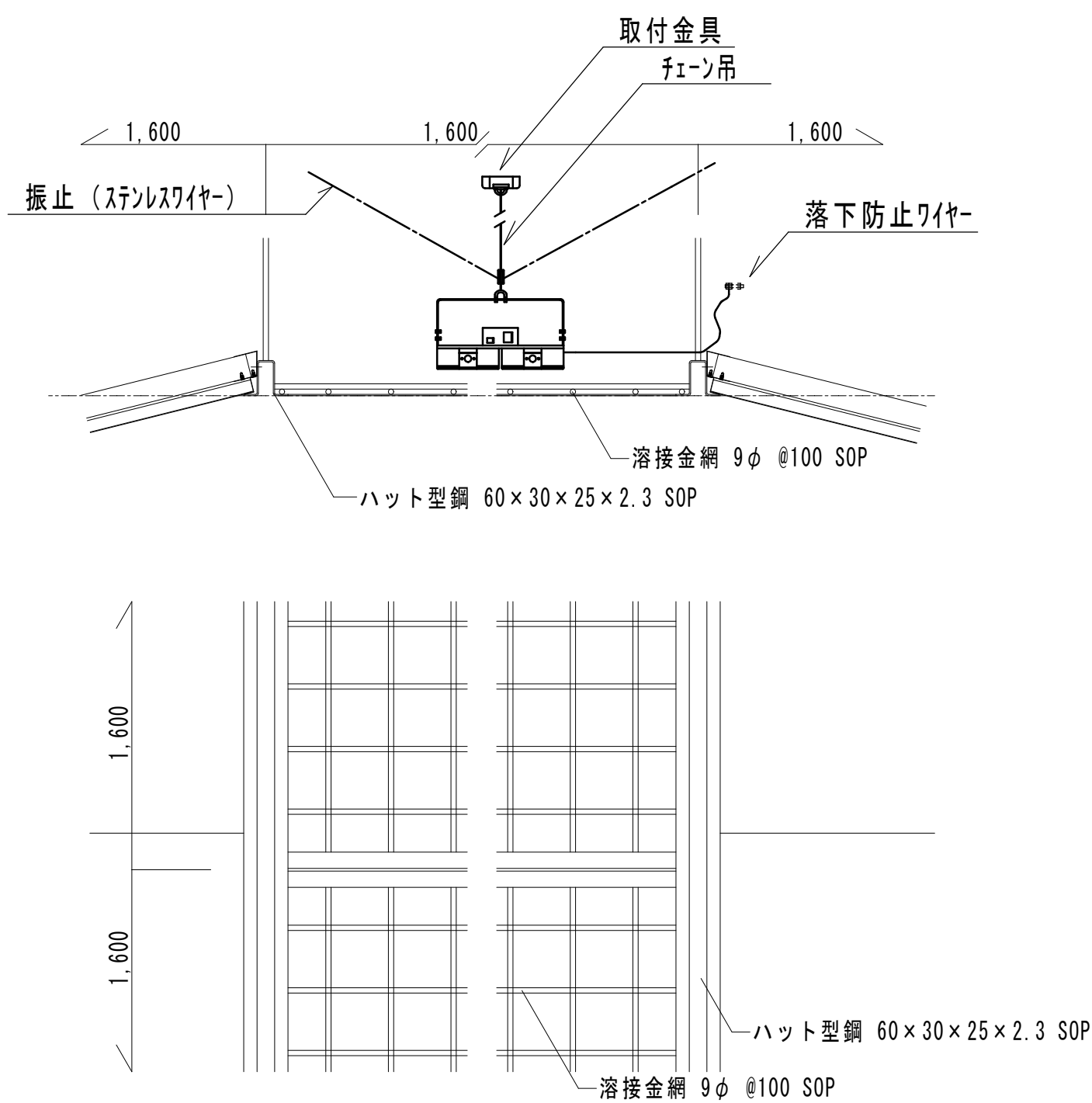
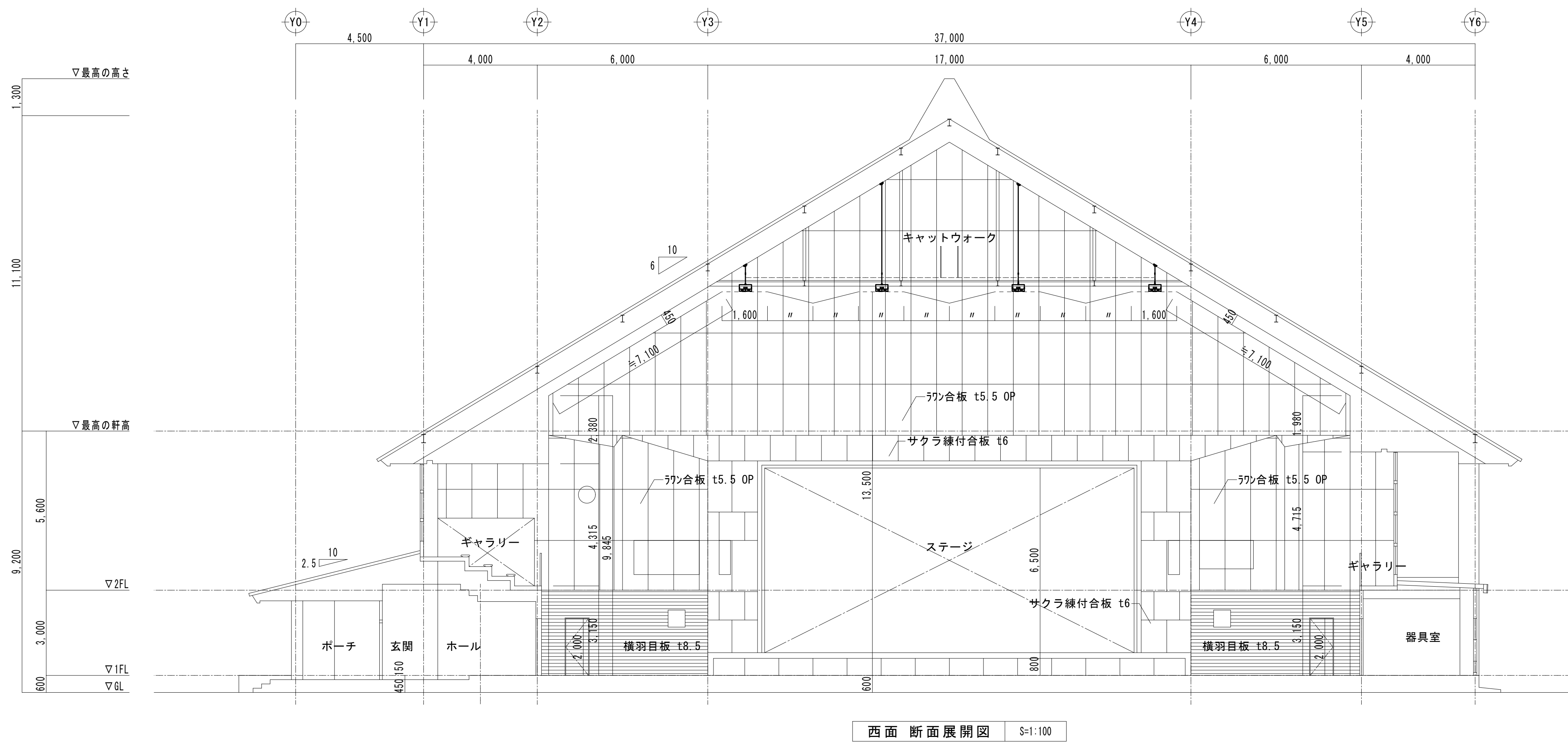
	名 称	測 点	取付高(mm)		名 称	測 点	取付高(mm)
共通	取 引 用 器 引 込 閉 器 警 報	地上～上端 床上～上端 床上～中心	2,000 1,800 1,500	時 計	壁 掛 形 時 計	床上～中心	1,500 (上端1,800以下)
				時 計	“	“	“
				拡 音	壁掛形スピーカ アツテナ	“	“ (天井高)×0.9 (天井高)×0.9 1,300
電	分 電 盤	床上～中心	1,500 (上端1,900以下)	表 示	表 示 盤	床上～中心	(天井高)×0.9 1,300
	タンブラスイッチ “ (身障者用)	“	1,300 1,100	表 示 盤	壁 付 電 器	“	“ (天井高)×0.9
	コンセント(一般)	“	300	ブ ェ ー	“	“	“ (天井高)×0.9
灯	“ (和室)	“	150	押 ボ タ ン	“	“	1,300
	“ (便所等)	“	500	“ (身障者用押釦)	“	“	900
	“ (台上)	台上～中心	1,500	示 示	身 障 者 用 表 示 灯	“	2,000
灯	ブラケット(一般)	床上～中心	2,100	壁 付 燈 台	壁 付 燈 台	“	1,800
	“ (隔障)	“	2,500	“	“	“	“
	“ (鏡上)	鏡縁～中心	150	イン タ ー ホ ン	壁 付 インターホン	床上～中心	1,500
助	避難口誘導灯	床上～下端	1,500以下	“ (身障者用)	“	“	1,100
	廊下通路誘導灯	床上～上端	1,000以下	壁 付 位 置 ボ ッ ク ス	壁 付 位 置 ボ ッ ク ス	“	“
				(壁付インターホンを除く)	“	“	“
力	壁掛形制御盤	床上～中心	1,500 (上端1,900以下)	“ (一般)	“	“	300
	手元開閉器	“	1,500	“ (和室)	“	“	150
	操作スイッチ 押ボタン	“	1,300	“	“	“	“
電	室内端子盤 (廊下・室内)	床上～下端	300	機 器 収 容 箱	機 器 収 容 箱	床上～中心	(天井高)×0.9
	“ (中・電気室)	“	“	ア ウ ト レ ッ ト	ア ウ ト レ ッ ト	“	300
	中間端子盤	床上～中心	1,500	“ (一般)	“	“	150
話	集合保安装置 壁付アウトレット ボックス(一般)	“	(天井高)×0.9 300	火 災 報 知	受 信 機	床上～操作部	800～1,500
	“ (和室)	“	150	“	副 受 信 機	“	800～1,500
				“	機 器 収 容 箱	床上～中心	800～1,500
				“	発 信 機	“	800～1,500
				“	消 火 栓 表 示 灯	“	(天井高)×0.9 (天井高)×0.8

MEMORANDUM	TITLE	ITEM	SCALE	DATE	CHECK-DRAWING	<div>  <div> <div>株式会社 創和設計</div> <div> 長野県上伊那郡箕輪町 2674-1 TEL0265-79-1222 (代)  長野県塩田市大門原町 509 TEL0263-52-8972 (代)  一級建築士 大谷登雄 第352433号  一級建築士事務所登録 (伊那) G第37121号 </div> </div> </div>		SHEET NO.
	箕輪町体育館吊り天井等耐震改修工事	〔藤が丘体育館〕 電気設備工事 特記仕様書	N.S	R02.03	一級建築士 第352433号 小河 豪 一級建築士 第204029号 有賀 修司	<div>  </div>		E-01 / 34









# 箕輪町体育館吊り天井耐震改修設計業務（社会体育館）

# 電気設備工事特記仕様書

## I 工 事 概 要

1 工 事 場 所 長野県上伊那郡箕輪町

## 2 建 物 概 要

建 物 名 称	構 造	階 数	延 面 積 (㎡)	消防法施行令 別表第一の区分	備 考
箕輪町社会体育館	S	2	1,895.75	( )	
				( )	

## 3 工 事 種 目 (○印のついたものを適用する。)

工 事 種 目	項 目	建 物 別 及 び 屋 外
電 灯 設 備	撤去、新設	○
動 力 設 備	幹線、分岐	
電 熱 設 備	幹線、分岐	
雷 保 護 設 備		
受 変 電 設 備		
電 力 貯 蔵 設 備		
静 止 形 電 源 設 備	直流電源装置	
免 電 設 備		
構内情報通信網設備	LAN	
構 内 交 換 設 備	配線・機器別途	
情 報 表 示 設 備	時計設備	
映 像 ・ 音 響 設 備		
拡 声 設 備		
誘 導 支 援 設 備	トイレ呼出し設備	
テレビ共同受信設備		
監 視 カ メ ラ 設 備		
駐 車 場 管 制 設 備		
防犯・入退室管理設備	予備配管	
自動火災報知設備		
自 動 閉 鎖 設 備		
非 常 警 報 設 備	非常放送装置	
ガス漏れ警報設備		
中央監視制御設備		
構 内 配 電 線 路		
構 内 通 信 線 路		
昇 降 機 設 備		

## 4 図 面 目 録

番 号	図 面 名 称	番 号	図 面 名 称
1	電気設備特記仕様書	21	
2	2階電気設備図	22	
3	アリーナ新照明器具設置詳細図	23	
4	2階電気設備去図	24	
5		25	
6		26	
7		27	
8		28	
9		29	
10		30	
11		31	
12		32	
13		33	
14		34	
15		35	
16		36	
17		37	
18		38	
19		39	
20		40	

## II 工 事 仕 様

### 1 共通仕様

- (1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(平成25年版)」(以下、「標準仕様書」という。)、**「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(平成25年版)」**(以下、「改修標準仕様書」という。)**及び「公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)(平成25年版)」**(以下、「標準図」という。)**による。**
- (2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。
- (参考図書：長野県建築工事の手引き(以下、「手引き」という。)(平成31年版)長野県建設部施設課監修

### 2 特記仕様

特記仕様は別紙「特記仕様書(共通事項)」によるほか次の各項目による。

- (1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
- (2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。

項 目	特 記 事 項
① 機 材 等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等なものとする。 ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承認を受ける。
② 機材の品質・性能証明	下表に示す材料・機材等(○印のもの)の製造者等は次の1)から6)のすべての事項を満たすものとし、この証明となる資料または外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出し監督員の承認を受ける。

材 料 ・ 機 材 名	材 料 ・ 機 材 名
○ LED照明器具	・
・	・
・	○ その他、監督員の指示によるもの
○ (社)公共建築協会による「建築材料・機材等品質性能評価事業」における評価対象となる電気設備機材	

- 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。
- 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。
- 安定的な供給が可能であること。
- 法令等が定める場合は、その許可・認可・認定または免許を取得していること。
- 製造または施工の実績があり、その信頼性があること。
- 販売、保守等の営業体制が整えられていること。

本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の(1)から(5)を満たすものとする。

- (1)合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上り塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。
- (2)保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。
- (3)接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑性を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。
- (4)塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。
- (5)上記(1)、(3)及び(4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。

なお、ホルムアルデヒドを放散しないものとは放散量が規制対象外のもの、ホルムアルデヒドの放散が極めて少ないものとは放散量が第三種のもをいい、原則として規制対象外のものを使用するものとする。

ただし、該当する材料等がない場合は、第三種のものを使用するものとする。

また、「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。

ホルムアルデヒドの放散量	該 当 す る 建 築 材 料
	①JIS及びJASの F☆☆☆☆規格品
	②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品
	③下記表示のあるJAS規格品
	a 非ホルムアルデヒド系接着剤使用
	b 接着剤等不使用
	c 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用
	d ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用
	e 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用
	f 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用
第 三 種	①JIS及びJASの F☆☆☆☆規格品
	②建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品
	③旧JISのE○規格品
	④旧JASのF○O○規格品

- 4 施工条件明示項目
- 5 電気保安技術者
- 6 電気工事士
- 7 実施工程表及び施工計画書
- ⑧使用材料発注先調書
- 9 発生材の処理
- ⑩監督員事務所
- ⑪工事用仮設物
- 12 足場・さん橋類
- 13 工事用電力・水・その他
- 公共建築工事積算基準の解説(設備工事編)の「執務並行改修」  
工事現場の電気工作物(電路、自動扉、自動シャッター、電動機等も含む)の保安業務を行うものとする。  
契約電力500kW以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工を行う。  
(1)実施工程表、総合施工計画書は、工事着手に先立ち速やかに提出する。  
(2)工種別の施工計画書は、当該工事に先立ち速やかに提出し、品質計画に係る部分は監督職員の承認を受けること。  
使用材料名、製造業者名、発注先等を記載した調書を作成し提出する。  
(1)引渡しを要するもの ・ 無 ・ 有 ( )  
(2)引渡しを要するもの以外 ○構外搬出し、関係法令により適切に処理をする。  
(3)特別管理産業廃棄物 ・ 無 ・ 有 (PS使用機器・関連法令により適切に処理し建物管理者に引き渡す。)  
(4)再利用又は再資源化を図るもの  
○ 無 ・ 有 (・廃蛍光管 ・コンクリート・木材・アスファルト・金属くず・ダンボール類 )  
○ 設けない ・ 設ける (規模 : )  
・ 備品 ( )  
すべて請負者の負担とする。  
構内に作ることが ・ できる ・ できない  
○別契約の関係請負者が設置したものは、無償で使用できる。  
○本工事で設置する。  
○内部仮設足場等 ( ・ 梁台足場 ・ 移動式足場 ・ 移動式室内足場 ・ )  
・ 外部足場 ( ・ A種 [施工箇所面に枠組足場を設ける。] ・ B種 [施工箇所面に単管本足場を設ける。] ・ C種 [仮設ゴンドラを使用する。] ・ D種 [移動式足場を使用する。] )  
本工事に必要な工事用電力、水等の費用及び官公署その他の関係機関への諸手続等に要する費用は請負者の負担とする。

項 目	特 記 事 項																																																										
14 工 事 写 真	工事の着手に先立ち、撮影計画の作成を行い、監督職員へ提出すること。																																																										
15 しゅん工時提出物	標準仕様書及び別表による。																																																										
16 再 使 用 機 器	取外し再使用機器は、原則として清掃及び絶縁抵抗測定を行った後取り付ける。 ただし、絶縁劣化等で使用に耐えない場合は、監督職員に報告する。																																																										
17 耐 震 施 工	設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」：監修（独）建築研究所）による。なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し承諾を受けるものとする。 (1)設計用水平地震力 機器の重量〔kgf〕に、設計用標準水平地震度を乗じたものとする。 なお、特記なき場合、設計用標準水平地震度は次による。  設計用標準水平地震度																																																										
	<table><tr><th rowspan="2">設置場所</th><th rowspan="2">機器種別</th><th colspan="2">○特定の施設</th><th colspan="2">・一般の施設</th></tr><tr><th>重要機器</th><th>一般機器</th><th>重要機器</th><th>一般機器</th></tr><tr><td rowspan="3">上層階、 屋上及び塔屋</td><td>機 器</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td>防振支持の機器</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>1.5</td></tr><tr><td>水槽類（※1）</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td rowspan="3">中 間 階</td><td>機 器</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td>防振支持の機器</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td>水槽類（※1）</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td rowspan="3">地下・1階</td><td>機 器</td><td>1.0</td><td>0.6</td><td>0.6</td><td>0.4</td></tr><tr><td>防振支持の機器</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td>水槽類（※1）</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr></table> (※1) 水槽類にはオイルタンク等を含む。 ◎重要機器の定義は次による。 ・ 変電設備 ・ 発電設備 ・ 直流電源設備 ・ 交流無停電電源装置 ・ 交換機 ・ 自動火災報知受信機 ・ 中央監視装置 ・ ◎上層階の定義は次による。 2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、 10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。 (2)設計用鉛直地震力 設計用水平地震力の1／2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）8章2節8.2.4及び11節による。 確認試験は、・性能確認試験（ 本 ）・施工後確認試験（ 本 ）を確認強度〔 〕kNにて行う。 ・施工士の適用（第1種、第2種）あと施工アンカー施工士による。 <small>(注)日本建築業あと施工アンカー協会認定資格</small> 電線等が、防火区画又は防火上主要な間仕切りを貫通する場合の施工状況について、貫通個所の両面から写真撮影し、工事写真として提出する。 (1) EM-EEFは紫外線による劣化を抑止する性能を持たせ、「アイシイ'イシ EM-EEF」と表記されたものを使用する。 (2) EM-UTP は JIS X 5150「構内情報配線システム」に準じ、絶縁材料及びシースに JIS規格によるEMケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの。 埋込分電盤からの立上り予備配管は、予備の配線用遮断器4個以下の場合は(25)を1本5個以上の場合は(25)を2本、天井まで立上げる。 長さ1m以上の入線しない電線管には、1.2mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。 下記の露出配管は塗装を行う。 ・ 屋 外 ・ 屋 内 ( 機 械 室 ) ・ A種 [山砂の類：水締め、機器による締固め] ○B種 [根切り土の中の良質土：機器による締固め] ・ C種 [他現場の建設発生土の中の良質土：機器による締固め] ・ D種 [再生コンクリート砂：水締め、機器による締固め] ・ 管の下部は50mm以上砂を敷きならし、管の上部100mm以上砂を用いて締め固める ・ 構外搬出処理 ・ 構内の指定場所に敷き均し (1) 地中線路には、ケーブル埋設票をもうける。 ・ 鉄製 ・ コンクリート製 (2) 低圧地中配線にあっても地中線埋設機軸シートを敷設する。 (3) 配管埋設幅が750mmを超える場合は、地中線埋設機軸シートは2条以上敷設する。 (1) 露出するブルボックスの本体及びふたの仕上げは、メラミン焼付塗装とする。 (2) 露出するブルボックスのふたの止めねじは化粧ビスとする。 図面に特記あるもの及び特殊なものを除き ○金属製 ・ 樹脂製 ブルボックス、ジョイントボックス及び機器をインストールには、用途を明示した略標をつける。 タンブラスイッチは運用形とする。 壁付けコンセント(2P15A)は原則として運用形とする。ただし、2口の場合は複式を使用して良い。また(2P15A)以外はずべてキャップ付とする。 本工事の動力制御盤より別途電動機等への配線の接続は本工事とする。 ・ 測定場所： ・ 各室（測定箇所数 箇所） ・ 廊下 ・ 階段 用 途： ・ 非常用照明 ・ 一般照明 ・ 学校施設における室内照度測定（測定教室： 箇所、測定黑板面： 箇所） ※教室の照度は、1教室当たり机上面9か所、黑板垂直面9か所で測定する (1) 分電盤等の図面ホルダーに、単線結線図・絶縁抵抗測定表・接地抵抗測定表を収納する。 (2) 端子盤には、線番表・結線表を備え付ける。 長野県グリーン購入推進方針に基づく調達項目 ＜資材＞ ・ 照明制御システム ・ 変圧器 ・ ( ) ＜建設機器＞ ・ 排出ガス対策型建設機器 ・ 低騒音型建設機器 工事区分表（平成 年版）による。ただしこれにより難しい場合は監督職員と協議する。  保険等の各種措置及び電子納品については、別添「特記仕様書（共通事項）」による。 （長野県公式ホームページ（電子入札システム）に掲載される、当該入札公告の添付図書） ・ 施工制約条件  ・	設置場所	機器種別	○特定の施設		・一般の施設		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階、 屋上及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5	水槽類（※1）	2.0	1.5	1.5	1.0	中 間 階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0	水槽類（※1）	1.5	1.0	1.0	0.6	地下・1階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6	水槽類（※1）	1.5	1.0	1.0	0.6
設置場所	機器種別			○特定の施設		・一般の施設																																																					
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																																																						
上層階、 屋上及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0																																																						
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5																																																						
	水槽類（※1）	2.0	1.5	1.5	1.0																																																						
中 間 階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6																																																						
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0																																																						
	水槽類（※1）	1.5	1.0	1.0	0.6																																																						
地下・1階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4																																																						
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6																																																						
	水槽類（※1）	1.5	1.0	1.0	0.6																																																						
18 あと施工アンカー																																																											
19 防火区画等の 貫 通 処 理																																																											
20 電 線 ・ ケーブル																																																											
21 予 備 配 管																																																											
22 呼 び 線																																																											
23 金属製電線管の塗装																																																											
24 埋 め 戻 し 土																																																											
25 建設発生土の処理																																																											
26 ケーブル埋設票																																																											
27 ブルボックス																																																											
28 フラッシュプレート																																																											
29 プレートの用途表示																																																											
30 配 線 器 具																																																											
31 機器への接続																																																											
32 照 度 測 定																																																											
33 盤 類																																																											
34 グリーン購入の推進																																																											
35 他工事又は他工種との 取り合い																																																											
36 その他及び電子納品																																																											
37 その他																																																											

(別表) しゅん工時提出物 (・に○印のついたものを提出する。)

個 別 提 出 物	一 括 提 出 物
1 完成図 ・ 原図(A1版 ケース入り) ○ 縮図(A1版 2つ折り製本 1部) ○ CADデータ(jww及びpdf形式) ・ ○ CADデータ	5 機器完成図 6 工事写真 7 完成写真 8 工事記録 (打合せ簿、工事日誌、協議書) 9 機材の試験成績書 10 施工の試験成績書 11 社内試験成績書 12 発生材処理報告書 (廃棄物処理実施書、運搬及び処理の委託契約書の写し、マニフェストの写し、フロー図)
3 引渡書 4 納入品 ○ 予備品 ・ 盤類の鍵 ・ ハンドホールフック、ジャッキ	13 納入品一覧表 14 官公署手続、検査書(管理者用正本、写し) 15 保金に関する資料(取扱説明書も含む)

### 3 ハンドホール

下表による。(梯子は各ハンドホールに設置する。蓋取外し用ジャッキを1組納入する。)  
ブロックハンドホール (寸法は内法を示す。底部とはハンドホール内側底部をいう。)  
・コンクリート相互間などは、エポキシ系樹脂接着剤により接着する。  
・ブロックの仕様は国土交通省仕様基準のものとする。  
・ハンドホールにノックアウト部分を設けてはならない。  
・配管貫通部は、原則として根巻きフック(F=180mm以上)とし、差し筋D10タテヨコφ200で補強する。  
・補強方法については、あらかじめ監督員にA/D・B・C製作図を提出して承諾を受けて施工する。

・	ハンドホール No.ー	1、500×1、500×1、500D 蓋 WPM-60A (エマーク入)	底部 GL-1、740以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール No.ー	1、200×1、200×1、500D 蓋 WPM-60A (エマーク入)	底部 GL-1、700以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール No.ー	1、000×1、000×1、400D 蓋 WPM-60A (エマーク入)	底部 GL-1、600以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール No.ー	1、000×1、000×1、100D 蓋 WPM-60A (エマーク入)	底部 GL-1、300以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール No.ー	1、000×1、000× 900D 蓋 WPM-60A (エマーク入)	底部 GL-1、060以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール No.ー	900× 900×1、100D 蓋 WPM-60A (エマーク入)	底部 GL-1、260以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール No.ー	900× 900× 900D 蓋 WPM-60A (エマーク入)	底部 GL-1、060以上 (既製足場付)
・	ハンドホール No.ー	600× 600× 680D 蓋 WPM-60A (エマーク入)	(既製足場付)
・	ハンドホール No.ー	450× 450× 680D 蓋 WPM-45B (エマーク入)	※植栽帯等車道の通行の恐れがない場所、 収容ケーブルが少ない場所に限る

### 4 接地極

下表による。ただし、これによりがたい場合は監督員との協議による。

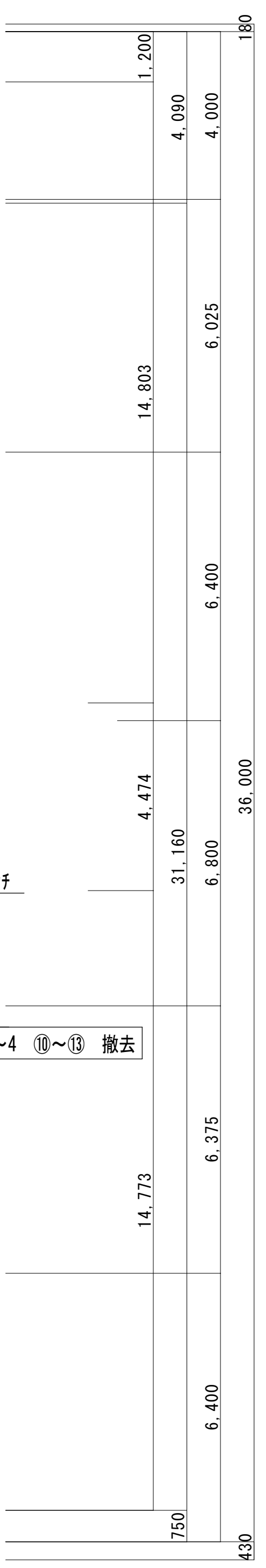
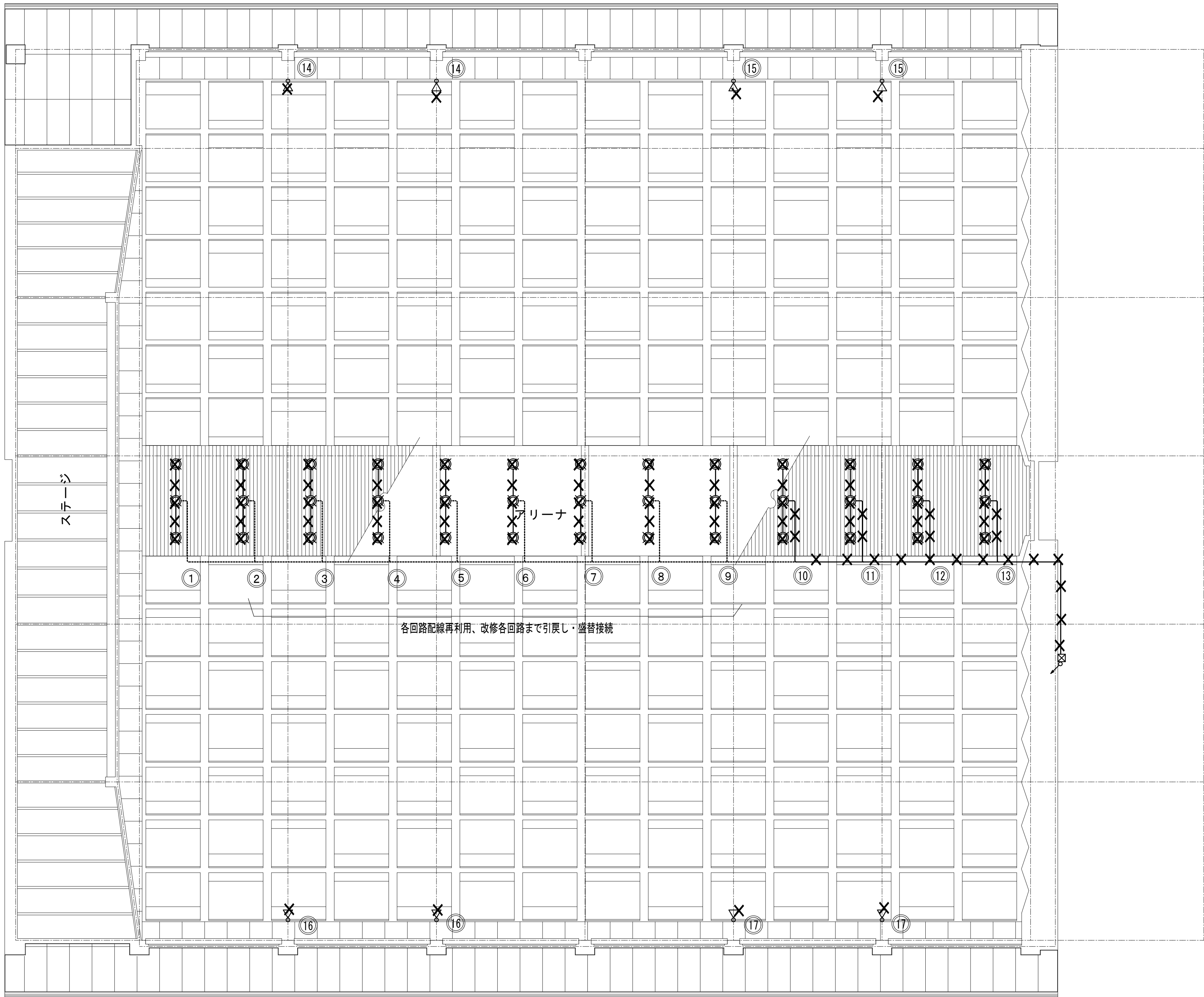
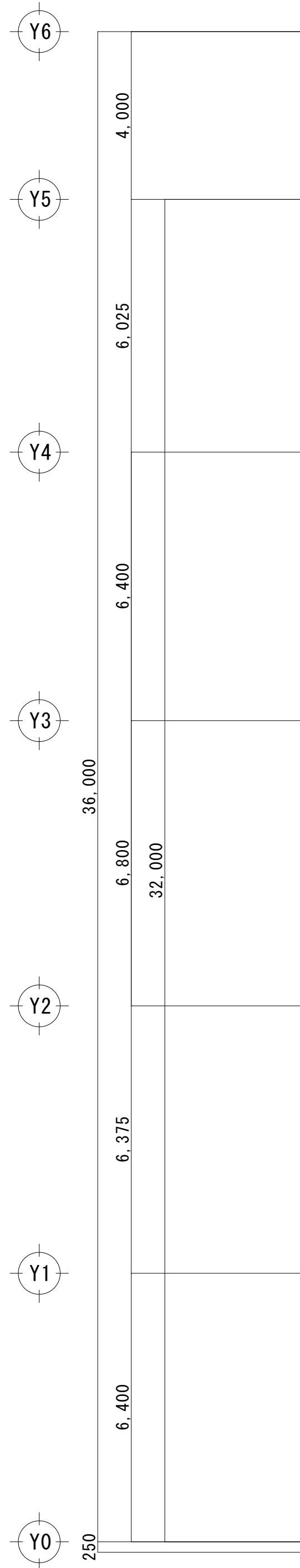
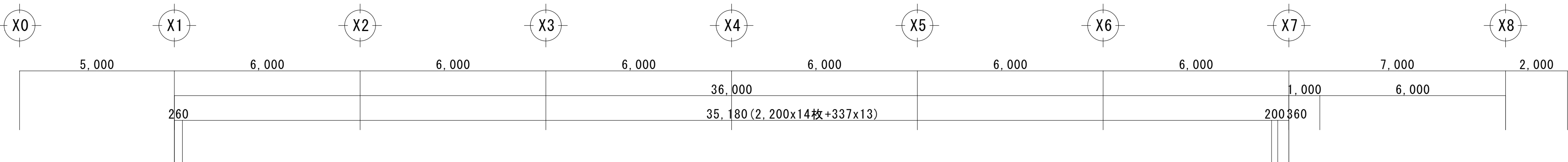
・	A 種 接 地	銅板1、5t×900×900 リード端子付 堀削埋戻中心深さ2m	補助接地棒(連結式10φ×1、500) 埋設極(黄銅製又はステンレス製)
・	B 種 接 地	銅板1、5t×600×600 リード端子付 堀削埋戻中心深さ2m	補助接地棒(連結式10φ×1、500) 埋設極(黄銅製又はステンレス製)
・	C 種 接 地	銅板1、5t×300×300 リード端子付 堀削埋戻中心深さ1.5m	補助接地棒(連結式10φ×1、500) 埋設極(黄銅製又はステンレス製)
・	D 種 接 地	接地棒(10φ×1、500)	リード端子付 打ち込み式 埋設極(黄銅製又はステンレス製)

### 5 機器取付高

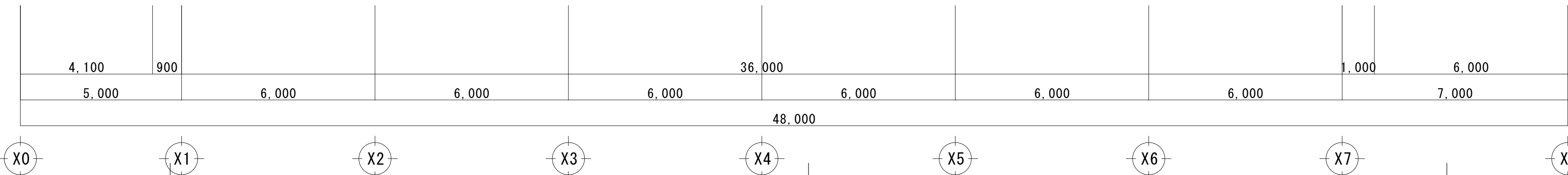
図面に特記なきものは下表を標準とする。但し下表によりがたい場合には監督員との協議による。

	名 称	測 点	取付高(mm)		名 称	測 点	取付高(mm)	
共 通	取 引 用 計 器	地上～上端	2,000	時 計	壁 掛 形 観 時 計	床上～中心	1,500 (上端1,900以下)	
	引 込 開 閉 器	床上～上端	1,800		子 時 計	〃	〃	
	警 報 壁	床上～中心	1,500		壁掛形スピーカ- アツチネーター	〃	〃	
電	分 電 盤	床上～中心	1,500 (上端1,900以下)	拡 声	表 示 盤	床上～中心	(天井高)×0.9	
	タンブラスイッチ	〃	1,300		壁 付 発 信 器	〃	1,300	
	〃 (身障者用)	〃	1,100		ベ	〃	(天井高)×0.9	
	コンセント(一般)	〃	300	示	押 ボ タ ン	〃	(天井高)×0.9	
	〃 (和室)	〃	150		〃 (身障者用押鈕)	〃	1,300	
	〃 (便所等)	〃	500		身 障 者 用 表 示 灯	〃	900	
	〃 (台上)	台上～中心	150	灯	復 帰 ボ タ ン	〃	2,000	
	ブラケット(一般)	床上～中心	2,100		イ	壁付インターホン	床上～中心	1,500
	〃 (講場)	〃	2,500		タ	壁付位置ボックス (壁付インターホンを除く)	〃	1,100
	〃 (鏡上)	鏡端～中心	150	動 力	〃 (一般)	〃	300	
灯	避 難 口 誘 導 灯	床上～下端	1,500以上		〃 (和室)	〃	150	
	上 通 路 誘 導 灯	床上～上端	1,000以下		手 元 開 閉 器	〃	〃	
	壁 掛 形 制 御 盤	床上～中心	1,500 (上端1,900以下)	力	操 作 ス イ ッ チ ・ 押 ボ タ ン	〃	〃	
	〃	〃	1,500		テ	機 器 収 容 箱	床上～中心	(天井高)×0.9
	〃	〃	1,300		レ	ア ウ ト レ ッ ト	〃	〃
	〃	〃	〃		ビ	〃 (一般)	〃	300
	〃	〃	〃		同	〃 (和室)	〃	150
	〃	〃	〃		受	信 機	床上～操作部	800～1,500
	〃	〃	〃		火	副 受 信 機	〃	800～1,500
	〃	〃	〃		災	機 器 収 容 箱	床上～中心	800～1,500
話	〃	〃	300	報 知	機 器 収 容 箱	〃	800～1,500	
	〃	〃	150		報 知	〃	(天井高)×0.9	
	〃	〃	〃		消 火 栓 表 示 灯	〃	(天井高)×0.8	

MEMORANDUM	TITLE	ITEM	SCALE	DATE	CHECK・DRAWING	創和 株式会社 創和設計	SHEET NO.
	箕輪町体育館吊り天井等耐震改修工事	[社会体育館] 電気設備工事特記仕様書	N.S	R02.03	一級建築士 第35243号 小河 豪 一級建築士 第204029号 有賀 修司	長野県上伊那郡箕輪町 2674-1 TEL0265-79-1222(代) 長野県塩尻市大門東町 509 TEL0263-52-8972(代) 一級建築士 大谷登雄 第35243号 一級建築士事務所登録(伊那)G第37121号 小 河 豪	E-05 34

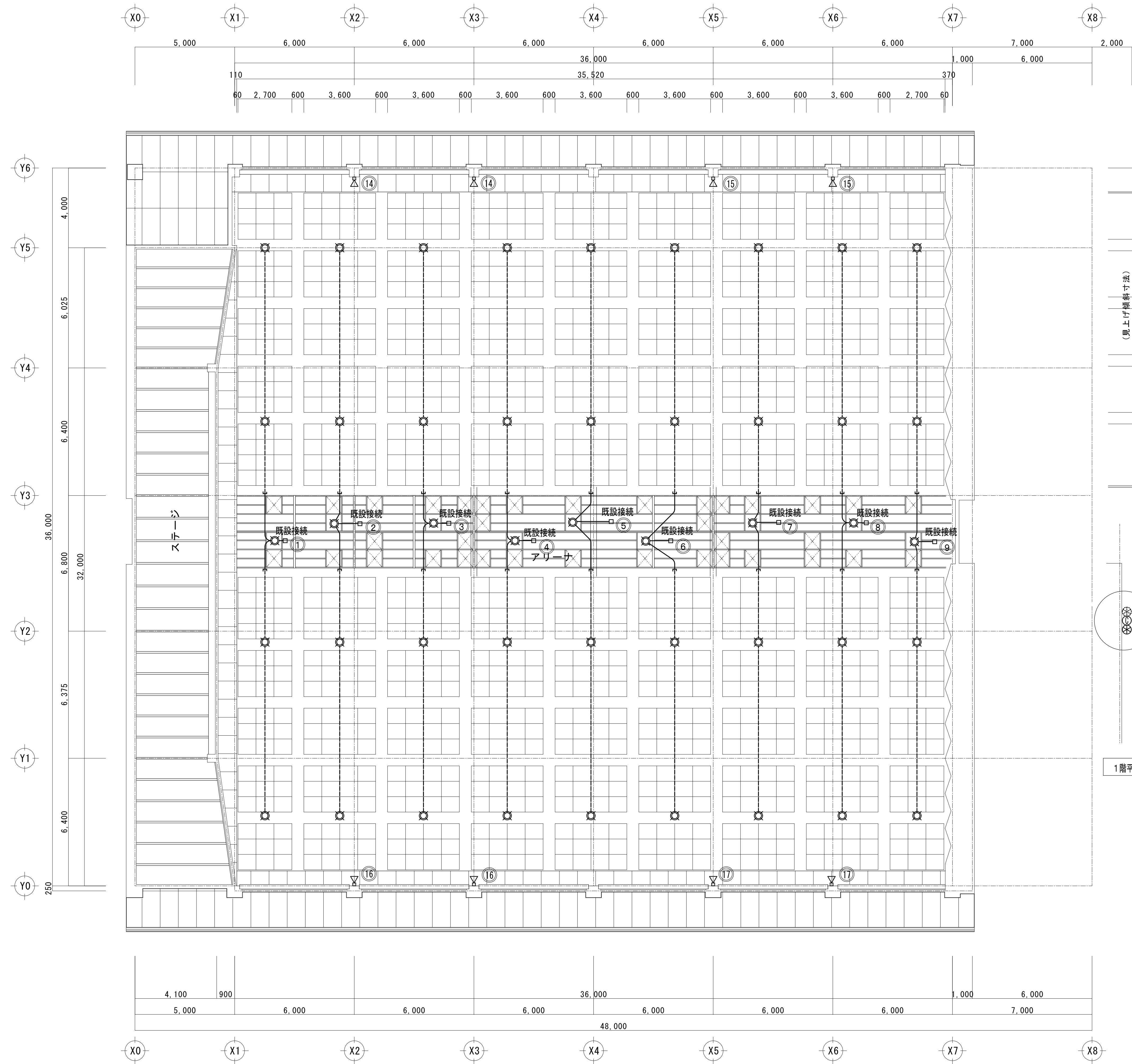


記号	仕 様
	照明器具 水銀灯 【撤去】
	照明器具 投光器 【撤去】
凡 例	
特記なき配線は下記の通りとする。【撤去】	
	VVF 2.0-3C
	既設配線
再：既設品撤去・再取付	



アリーナ天井伏図 1/100

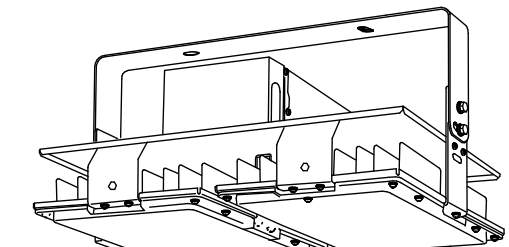




1階平面図

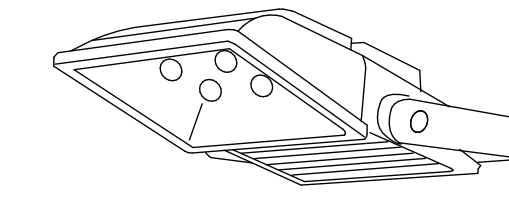
○×36機 LED高天井用照明器具 マルチバグ ン灯1000形器具相当

拡散ハ 棚下面がード付



昼白色、5000K、Ra70、中角タイプ、直付型  
光束42300lm、消費電力232W、電圧200～242V  
光源寿命60000時間（光束維持率85%）  
本体：アルミ、パネル：ポリカーボネート（透明）  
アーム：亜鉛鋼板  
約5～85%連続調光初期照度補正型  
落下防止ワイヤー付、電源内蔵型（4.2kg）

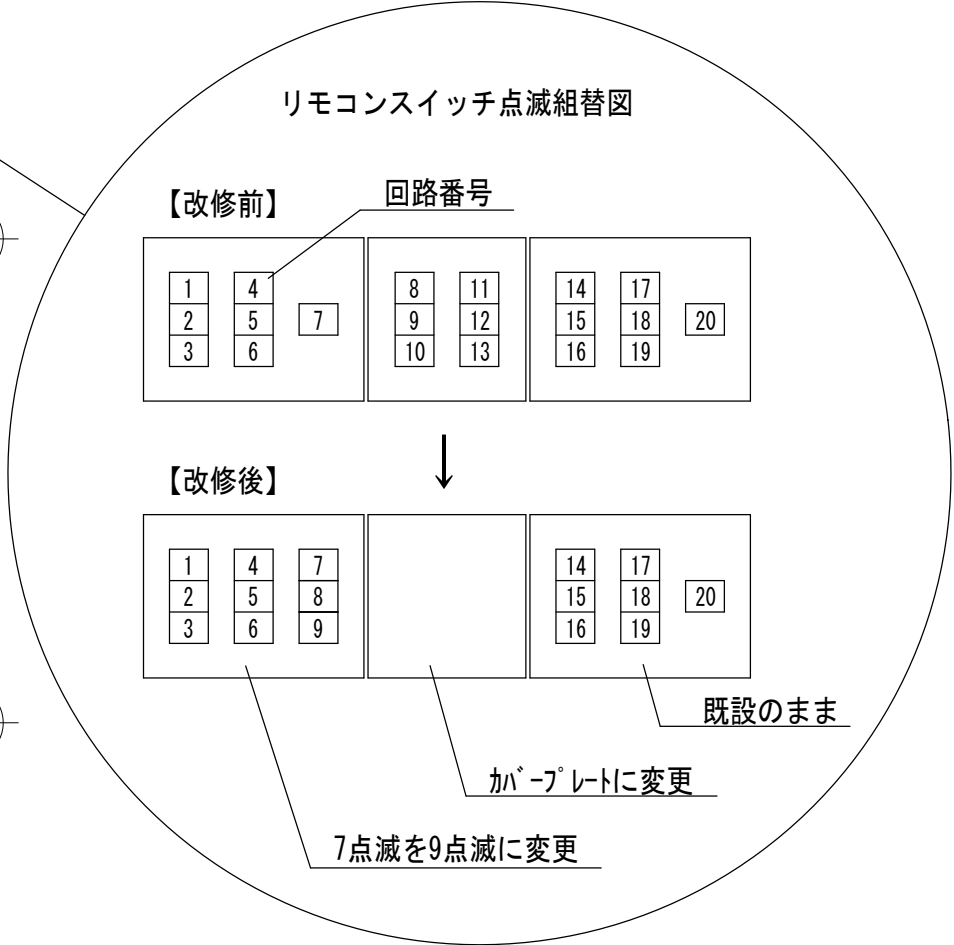
△×8機 LEDｽﾀｯﾄﾞﾗｲﾄ 水銀灯400形相当



昼白色、5000K、Ra85  
器具光束10700lm、消費電力98.3W、電圧100～242V  
ワイド配光、光源寿命6万時間（光束維持率80%）  
本体：アルミダイカスト（シルバーマタリック）  
パネル：ポリカーボネート（透明つや消し）  
耐雷サージ15kV、耐風速60m  
電源接続部灯具内収納可能、電源内蔵型（5.7kg）

記号	仕 様
○×	照明器具 水銀灯
△×	照明器具 投光器

凡 例	
特記なき配線は下記の通りとする。	
—	WF 2.0-3C
- - -	WF 2.0-3C (E25)



アリーナ天井伏図 1/100



